

平成28年度 事業報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会

はじめに

本資料は、公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会（JFMA）の平成28年4月1日より平成29年3月31日までの事業実施結果についてご報告するものです。

JFMAは、平成24年1月4日に公益社団法人として設立登記を行い、今期が5年目の業務実施となります。

今期も、事業計画に基づき、JFMA定款に掲げる6つの事業、すなわち、ファシリティマネジメントに関する資格認定、教育研修、表彰、調査研究、広報および交流事業を確実に実施するとともに、あらゆる局面においてコスト削減に努力し業務を推進した結果、5年連続の決算収支黒字化を達成することができました。

今期、公共FMの動向としては、総務省から全国1800近い地方公共団体に策定要請された「公共施設等総合管理計画」が今年の3月で3年目の作成期限を迎えたことがあげられます。JFMAとしては、昨年（平成28年）10月に残り半年となった「公共施設等総合管理計画」策定へのエールとして書籍「新訂版公共ファシリティマネジメント戦略」を発刊し、全国の首長の皆さまにお送りし、多くの反響を得ました。さらに、調査研究部会の「インフラマネジメント研究部会」が中心となり、インフラに関する新たなメンテナンス展開を中心にしたセミナーを、長岡（6/29）、石川（9/6）、福島（3/7）の3か所で開催し、延べ290名以上の参加を得るとともに、国土交通省のインフラメンテナンス国民会議へ委員としても参加し活動を始めました。

2月に開催した第11回日本ファシリティマネジメント大会は、通称JFMA FORUMからファシリティマネジメント フォーラムと改名し、テーマを「FM思考で社会・経営の課題を解決する」とし、基調講演を隈研吾氏（建築家、東京大学教授）、特別講演を樋口泰行氏（日本マイクロソフト株式会社執行役員会長）と川元茂氏（国土交通省大官房官庁営繕部長）に、さらに80件を超えるセミナー、23社からの展示会出展を軸に、約300名が参加したネットワーキングパーティ、米国・韓国・マカオなどとのグローバルFMサミットなど、多彩なプログラムを展開し、延べ参加者数は4,150名となり、過去最大のFMイベントとなりました。

FMのISO国際標準化に関しては、ISO41000シリーズとして2013年からISO専門委員会TC267で開発されていますが、JFMAは、国内審議団体として、我が国を代表して各種会議へ参加しています。2016年度末には、ISO41011（FM用語集）、ISO41012（FM戦略的業務委託と合意書の作成に関する手引き）が国際規格（ガイダンス）としてまとまるとともに、今年4月に発行されました。さらに2018年度のISO41001（FMマネジメントシステム-要求事項と利用のための手引き）の発行（認証規格）に向けて貢献をしております。

第1号議案 目次

≪平成28年度事業報告 -目次≫

I. 法人の概況

1. 設立年月日	10
2. 定款に定める目的	10
3. 定款に定める事業内容	10
4. 所管官庁に関する事項	10
5. 会員の状況	11
6. 主たる事務所	11
7. 役員などに関する事項	12
8. 職員に関する事項	12

II. 事業の状況

1. 総会及び理事会	13
2. 委員会 (詳細付1.参照)	15
3. 事業内容 (公益目的事業)	17
3. 1 ファシリティマネジメントに関する資格認定事業 (詳細付2.参照)	17
3. 1. 1 認定ファシリティマネジャー資格試験	17
3. 1. 2 認定ファシリティマネジャー資格登録	17
3. 1. 3 認定ファシリティマネジャー資格更新登録	17
3. 1. 4 総解説「ファシリティマネジメント」の改訂	17
3. 2 ファシリティマネジメントに関する教育研修事業 (詳細付3.参照)	18
3. 2. 1 初級FMスクール・セミナーの実施	18
3. 2. 2 日本ファシリティマネジメント大会 (ファシリティマネジメントフォーラム) でのセミナー	18
3. 2. 3 ウィークリーセミナー	18
3. 2. 4 専門分野別特別セミナー	18
3. 2. 5 ファシリティマネジメント上級セミナー	19
3. 2. 6 公共向けFMセミナー	19
3. 2. 7 JFMA FM サマースクール 2016	19
3. 2. 8 通信教育の実施	19
3. 3 ファシリティマネジメントに関する表彰事業 (詳細付4.参照)	19

3. 4	ファシリティマネジメントに関する調査研究事業（詳細付5.参照）	21
3. 4. 1	調査研究部会	21
3. 4. 2	ファシリティマネジメント国際標準化（ISO）策定作業への対応	23
3. 4. 3	海外ファシリティマネジメント調査団	23
3. 5	ファシリティマネジメントに関する広報事業（詳細付6.参照）	23
3. 5. 1	機関誌「JFMAジャーナル」の定期的な発行	23
3. 5. 2	Web版「JFMAジャーナル・オンライン」の運用	23
3. 5. 3	ホームページの運用	24
3. 5. 4	メールマガジンの定期的な発行	24
3. 5. 5	マスメディア、その他広くネットワークを持つ方法の活用	24
3. 5. 6	「ファシリティマネジメントフォーラム2017」スポンサー募集とガイドブック等発行	24
3. 6	ファシリティマネジメントに関する交流事業（詳細付7.参照）	24
3. 7	第11回日本ファシリティマネジメント大会（ファシリティマネジメントフォーラム2017）	25
3. 8	その他、本協会の目的を達成するために必要な事業	25
4.	事業内容（収益事業等）	25
付.	目次	27
付1.	委員会	29
付2.	資格認定事業	35
付3.	教育研修事業	41
付4.	表彰事業	57
付5.	調査研究事業	63
付6.	広報事業	79
付7.	交流事業	85

《平成28年度決算報告 -目次》

1.	決算報告書	89
2.	監査報告書	99
3.	独立監査人の監査報告書	100

I. 法人の概況

1. 設立年月日

平成8年9月25日（旧社団法人日本ファシリティマネジメント推進協会）

平成24年1月4日（公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会）

2. 定款に定める目的

本協会は、企業等が有する全施設及び当該施設の利用環境を経営戦略的視点から総合的に企画、管理、活用する経営管理活動（以下「ファシリティマネジメント」という。）の普及定着を推進することにより、快適かつ機能的な生活・執務環境の効率的な形成を図り、もって良好な社会資本の整備及びわが国経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) ファシリティマネジメントに関する資格認定事業
- (2) ファシリティマネジメントに関する教育研修事業
- (3) ファシリティマネジメントに関する表彰事業
- (4) ファシリティマネジメントに関する調査研究事業
- (5) ファシリティマネジメントに関する広報事業
- (6) ファシリティマネジメントに関する交流事業
- (7) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 会員の状況

平成 28 年度の会員移動状況は次の通りである。

会員種別	平成 28 年 3 月 31 日 ①	入 会 ②	退 会 ③	差 引 ②-③	平成 29 年 3 月 31 日現在 ①+②-③
法人・団体正会員	177	8	8	0	177
法人・団体準会員	18	1	2	-1	17
小 計	195	9	10	-1	194
公 共 特 別 会 員	214	29	0	29	243
合 計	409	38	10	28	437
個 人 正 会 員	39	0	6	-6	33
個 人 準 会 員	860	44	50	-6	854
合 計	899	44	56	-12	887
総 合 計	1,308	82	66	16	1,324

6. 主たる事務所

主たる事務所所在地：東京都中央区日本橋浜町 2-13-6 浜町ビル 6 階

7. 役員などに関する事項

平成 29 年 3 月 31 日現在を示す

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
会 長	山田 匡通	非常勤	(株)イトーキ 代表取締役会長
副 会 長	長島 俊夫	非常勤	伊藤滋都市計画事務所 PARTNER
〃	大井清一郎	〃	JR 東日本ビルテック(株)取締役会長
〃	村田 誉之	〃	大成建設(株) 代表取締役社長
〃	岩崎 芳史	〃	日本郵政(株) 代表執行役副社長
〃	林 総一郎	〃	三菱地所(株) 代表執行役 執行役専務
専務理事	成田 一郎	常勤	(公社)日本ファシリティマネジメント協会
理 事	大久保 昇	非常勤	(株)内田洋行 代表取締役社長
〃	牧 貞夫	〃	NTT 都市開発(株) 代表取締役社長
〃	黒田 長裕	〃	(株)NTT ファシリティーズ 常務取締役
〃	瀬古口芳実	〃	(株)大林組 執行役員東京本店建築事業部担任副事業部長
〃	中村喜久男	〃	(株)岡村製作所 代表取締役会長
〃	井田 卓造	〃	鹿島建設(株) 技師長
〃	長澤 泰	〃	工学院大学理事名誉教授・東京大学名誉教授
〃	黒田 章裕	〃	コクヨ(株) 代表取締役会長
〃	大西 正修	〃	清水建設(株) 執行役員 建築総本部設計本部副本部長
〃	本山 孝	〃	大星ビル管理(株) 代表取締役社長
〃	坂本 弘光	〃	(株)竹中工務店 FM 本部長
〃	岡田 正志	〃	東急不動産(株) 取締役常務執行役員
〃	安蕪 秀徳	〃	東京美装興業(株) 技監 事業開発部長
〃	中津 元次	〃	中津エフ・エム・コンサルティング 代表
〃	中分 毅	〃	(株)日建設計 代表取締役副社長執行役員
〃	斎藤 修一	〃	(株)日本経済新聞出版社 代表取締役社長
〃	六鹿 正治	〃	(株)日本設計 取締役会長
〃	米川 清水	〃	日本メックス(株) 取締役相談役
〃	木下 達司	〃	(一社)ニューオフィス推進協会 専務理事
〃	米倉誠一郎	〃	一橋大学 イノベーション研究センター 教授
〃	松岡 利昌	〃	(株)松岡総合研究所 代表取締役
〃	宮田 歩	〃	三井不動産(株) 執行役員ビルディング本部副本部長
〃	森 浩生	〃	森ビル(株) 取締役副社長執行役員
〃	染川聡一郎	〃	リコージャパン(株) 理事 スマート&エネルギー事業部長
〃	田中 淳	〃	(公社)ロングライフビル推進協会 専務理事
監 事	田邊 義博	非常勤	東京ガス都市開発(株) 代表取締役社長
〃	野村 春紀	〃	日比谷総合設備(株) 取締役相談役

注) 記載順序: 会長、副会長、理事及び監事の順、並びに、「担当職務・現職」の 50 音順

8. 職員に関する事項

15 名 (平成 29 年 3 月末日現在)

II. 事業の状況

1. 総会及び理事会

1. 1 総会

今期は、通常総会及び臨時総会を各々1回開催し、すべての議案を決議した。

平成 28 年度第 1 回通常総会	日付	平成 28 年 6 月 22 日(水)
	場所	公益社団法人日本ファシリテイマゼジメント協会 6 階会議室
	決議事項	1)平成 27 年度事業報告及び決算報告の件 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) 2)理事選任の件
	報告事項	1)平成 28 年度事業計画及び収支予算の件 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

平成 28 年度第 1 回臨時総会	日付	平成 28 年 10 月 12 日(水)
	場所	公益社団法人日本ファシリテイマゼジメント協会 6 階会議室
	決議事項	1) 理事選任の件

1. 2 理事会

今期は、理事会及び臨時理事会を次の通り開催し、すべての議案を決議した。

第 1 回 理 事 会	議案 説明 日	平成 28 年 5 月 25 日(水)
	場所	ロイヤルパークホテル 4 階瑠璃
	書面 評決 日	平成 28 年 6 月 3 日(金)
	決議事項	1)平成 27 年度事業報告及び決算報告の件 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) 2)理事選任の件 3)役職理事選任の件
	報告事項	1)コンプライアンス活動状況報告 2)会員入会報告 3)代表理事及び業務執行理事の職務執行報告

第 1 回 臨 時 理 事 会	書面 評決 日	平成 28 年 9 月 14 日(水)
	決議事項	1)臨時総会招集の件 2)理事選任の件

第 2 回 理 事 会	日付	平成 28 年 10 月 12 日(水)
	場所	ロイヤルパークホテル 4階瑠璃
	決議 事項	1) 役職理事選任の件

第 3 回 理 事 会	日付	平成 29 年 3 月 8 日(水)
	場所	ロイヤルパークホテル 2階春海
	決議 事項	1) 平成 29 年度事業計画及び収支予算の件 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
	報告 事項	1) 会員入会報告 2) 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告

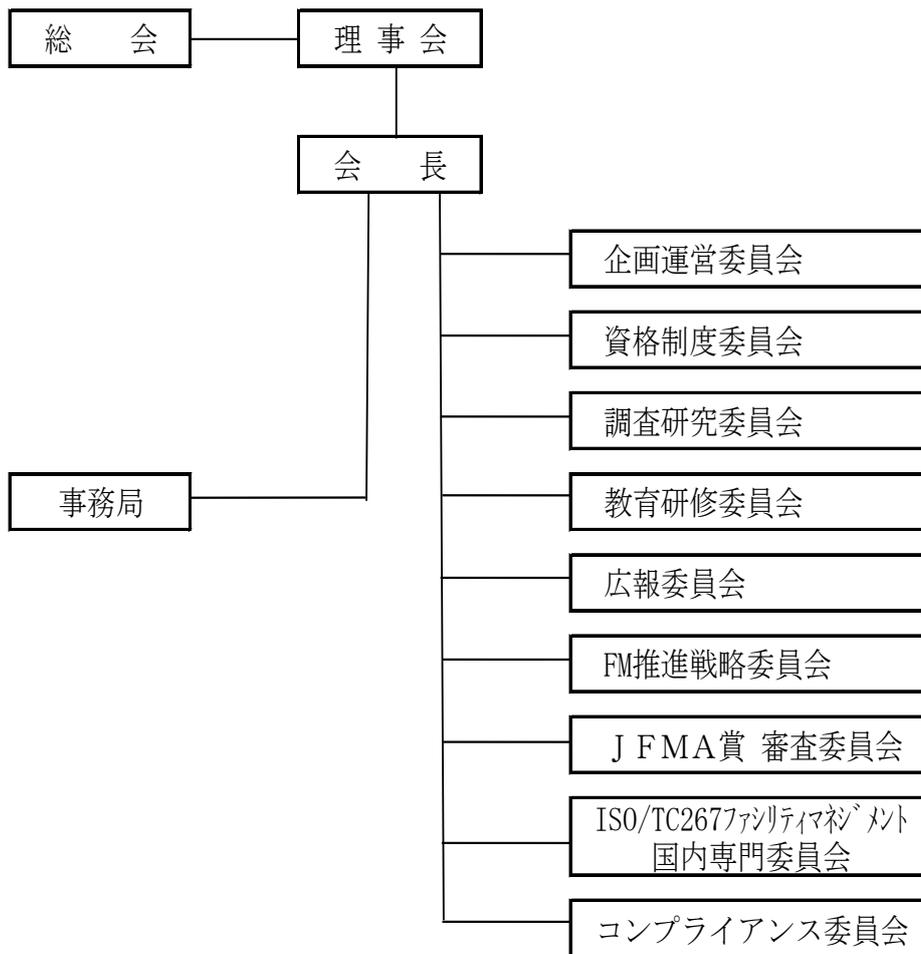
2. 委員会 (詳細付1. 参照)

今期は、下記の委員会のもとに事業活動を展開した。

企画運営委員会	役 割	理事会機能を補完するもので、協会中長期事業計画の策定、単年度事業計画の立案、理事会上程事項の立案、会長諮問事項の審議・答申、各委員会の活動計画の調整、その他協会活動の企画運営業務。		
	委 員 長	赤川 寛	㈱NTT ファシリティーズ	
	副 委 員 長	重綱 鉄哉	㈱イトーキ	
	委 員	他 30 名		
資格制度委員会	役 割	FM資格制度全般の統括業務。		
	委 員 長	沖塩 荘一郎	東京理科大学名誉教授	
	副 委 員 長	遠藤 和義	工学院大学建築学部建築学科教授	
	委 員	他 4 名		
試験委員会	委 員 長	遠藤 和義	工学院大学建築学部建築学科教授	
	副 委 員 長	重綱 鉄哉	㈱イトーキ	
	委 員	他 12 名		
更新講習委員会	委 員 長	酒井 寛二	元中央大学専門職大学院国際会計研究科教授	
	副 委 員 長	――	――	
	委 員	他 8 名		
調査研究委員会	役 割	FMの活動に必要な知識・技術・手法の調査研究・開発の立案及び調査研究部会の企画・推進・調整業務。		
	委 員 長	似内 志朗	日本郵政㈱	
	副 委 員 長	松成 和夫	プロコト・コンサルティング	
	委 員	他 15 名		
教育研修委員会	役 割	FMに関する人材の育成と普及のための教育研修事業の企画・提言及び支援業務。		
	委 員 長	重綱 鉄哉	㈱イトーキ	
	副 委 員 長	村山 晃永	㈱NTT ファシリティーズ	
	委 員	他 6 名		
広報委員会	役 割	FM及びJFMAの活動の広報と広報戦略の企画・提言及び支援業務。		
	委 員 長	齋藤 敦子	コクヨ㈱	
	副 委 員 長	渡辺 光	ソニーコーポレートサービス㈱	
	委 員	他 8 名		
FM推進戦略委員会	役 割	FM推進に関する戦略展開の企画・提言及び支援業務。		
	委 員 長	板谷 敏正	プロパティデータバンク㈱	
	委 員	他 7 名		

J F M A 賞 審査委員会	役 割	日本ファシリティマネジメント大賞（J F M A 賞）の審査。		
	委 員 長	沖 塩 莊一郎	東京理科大学 名誉教授	
	副 委 員 長	深 尾 精 一	首都大学東京 名誉教授	
	委 員	他 8 名		
I S O / T C 2 6 7 ファシリティマネジメント国内専門委員会	役 割	FMの I S O 国際標準化のため、国内委員会を適時開催して、関連情報の共有を図るとともに、国内の意見をとりまとめ		
	委 員 長	長 澤 泰	工学院大学 理事	
	副 委 員 長	—	—	
	委 員	他 18 名		
コンプライアンス 委員会	役 割	コンプライアンス施策の検討と実施、施策の実施状況のモニタリング、コンプライアンス違反事件についての分析・検討、再発防止策の策定。		
	委 員 長	成 田 一 郎	J F M A 専務理事	
	副 委 員 長	—	—	
	委 員	他 4 名		

J F M A 組織図（平成 28 年度）



3. 事業内容（公益目的事業）

3. 1 ファシリティマネジメントに関する資格認定事業（詳細付2. 参照）

3. 1. 1 認定ファシリティマネジャー資格試験

平成28年7月10日に全国9会場（東京、大阪、札幌、名古屋、福岡、仙台、金沢、広島、高松）で試験を実施し、合否発表を同年9月1日に行った。

また、平成29年度資格試験のための問題作成に着手した。

※ファシリティマネジャー資格認定事業は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、一般社団法人ニューオフィス推進協会及び公益社団法人ロングライフビル推進協会の3団体で実施している。

平成28年度 合格者数	470名(合格率:43.9%)	参考 1,070名(受験者の累計) 1,315名(申込者の累計)
----------------	-----------------	--

3. 1. 2 認定ファシリティマネジャー資格登録

資格試験合格者の内、一定の実務経験保持者で申請のあった者に対し、「認定ファシリティマネジャー資格者（CFMJ）」の称号を付与し登録した。

平成28年度 登録者数	387名(内、平成28年度合格の登録者 320名) 累計 6,645名(平成29年3月末現在)
----------------	--

3. 1. 3 認定ファシリティマネジャー資格更新登録

資格更新が決定した者に対し、資格登録証を発行した。また平成28年度更新登録に関する準備に着手した。

平成28年度資格 更新登録者数	807名(更新登録者)	平成29年3月末現在
--------------------	-------------	------------

3. 1. 4 総解説「ファシリティマネジメント」の改訂

時代に最適なFMの教科書を作成するため、総解説「ファシリティマネジメント」の見直し作業を行った。平成29年秋の完成を目標としている。

3. 2 ファシリティマネジメントに関する教育研修事業（詳細付3. 参照）

会員及び会員以外を対象として、ファシリティマネジメントに関する基礎から応用に関わる知識・技術・経験等を広く学習する機会を提供するため、次のセミナー（研修）及び通信教育を行った。すべてのセミナー及び通信教育は、会員に限定せず誰でも受講可能とした。

3. 2. 1 初級FMスクール・セミナーの実施

より一層のFM普及を図るため、初級FMスクールを開催した。1日でFMの基本をマスターする集合講座を、今期は平成28年8月～12月に東京で3回開催し、計77名が受講した。また、テキスト及び副読本として「第四の経営基盤－日本企業が見過ごしてきたファシリティマネジメント」を使用した。

3. 2. 2 日本ファシリティマネジメント大会（ファシリティマネジメントフォーラム）でのセミナー

基調講演、特別講演、一般講演、JFMA賞受賞講演、調査研究部会講演、初級者向け講演、展示団体講演、パネルディスカッション等、合計85件のセミナーで構成した。延べ参加者数は4,150名。

3. 2. 3 ウィークリーセミナー

ファシリティマネジメント各分野の専門家を講師とし、ファシリティマネジメント各分野にわたるテーマでセミナーをJFMA会議室にて14回開催した。受講者総数は288名。
（受講者平均20.6名）

3. 2. 4 専門分野別特別セミナー

広範なファシリティマネジメント専門分野別に、特別セミナーを開催した。

調査研究部会特別公開セミナー － JFMA FM 秋の夜学校 －

JFMAの16調査研究部会の研究成果を、「JFMA FM 秋の夜学校」としてテーマ別の公開セミナーを平成28年9月～12月に開催した。
受講者総数は228名。

3. 2. 5 ファシリティマネジメント上級セミナー

ファシリティマネジメントの専門分野について、深く掘り下げるセミナーを開催した。企業、大学、官庁等で専門分野の最先端で活躍する方々を講師陣とし、今年度は平成 28 年 11 月に 3 日間開催した。受講者総数は 43 名。

3. 2. 6 公共向け FM セミナー

インフラに対する包括維持管理を議題の中心にインフラマネジメントに関するシンポジウム」を 3 回開催した。受講者総数は 290 名。

3. 2. 7 JFMA FM サマースクール 2016

FM・総務サービスを、組織内で実践する上で必要な基本エッセンス（基本ビジネス能力、ホスピタリティ能力、FM 専門知識）を集中して学ぶ「JFMA FM サマースクール 2016」を、平成 28 年 8 月～9 月の 6 日間で開催した。受講者数は延べ 112 名。

3. 2. 8 通信教育の実施

時間的、距離的な制約によりセミナーに参加できない人々を対象に、通信教育を実施した。今年度の受講者数は 31 名。

3. 3 ファシリティマネジメントに関する表彰事業 （詳細付 4. 参照）

第 11 回日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA 賞）を実施した。

公募による 18 件を対象とし、有識者 10 名の審査委員が審議した結果、下記の授賞を決定し、「ファシリティマネジメントフォーラム 2017」において授賞式を行った。

《最優秀 FM 賞（鵜澤賞）》1 件

青森県弘前市

（魅力あるまちづくりを FM で魅せる FM ―文化財施設等の新しい価値の創造と次世代への継承―）

《優秀 FM 賞》4 件

株式会社フジクラ

（FM による健康経営の実現 ―FHAB を中心として―）

株式会社NTTファシリティーズ
(ICTを活用した“Smart & Safety”なFMの実践)

コニカミノルタ株式会社
(FMによる価値創造を目指した研究開発棟(SKT棟)の構築)

愛媛県鬼北町
(文化財として保存した庁舎の活用とFMサイクルの浸透 - 鬼北町庁舎再生への
取組み-)

《特別賞》1件

株式会社ジェイアール東日本都市開発
(鉄道高架下空間の有効活用による地域活性化事例 AKI-OKA STREET)

《技術賞》1件

株式会社トヨックス
(輻射空調による快適性と省エネの両立ができるワークプレイスの実現)

3. 4 ファシリティマネジメントに関する調査研究事業 (詳細付5. 参照)

ファシリティマネジメントに関する専門分野毎に設置する「研究部会」活動及びファシリティマネジメント I S O 国際標準化策定作業への対応等を行った。

3. 4. 1 調査研究部会

合計 16 部会が各々のメインテーマのもとに活動を行った。

(1) マネジメント研究分野

① FM戦略企画研究部会

メインテーマ：転換期の都市・地域のレジリエンス&サステナビリティの向上
—今後の公共FM戦略の方向性

部会登録者数：15名

② FMプロジェクトマネジメント研究部会

メインテーマ：企業オフィスの日常管理における、「定常的な課題解決」と「次の改善整備」に向けた知見を集積し、企業のFM向上に寄与することを目的に、インハウス FMer と外部 PM サービス提供者 (50:50)の幅広い見地を成果としてまとめ養成普及に努める

部会登録者数：43名

③ リスクマネジメント研究部会

メインテーマ：「レジリエンス」に関する研究
・「防災訓練モデルシナリオ」の検討
・「帰宅困難者施設受け入れ」に関する検討
・災害時の災害弱者対策の検討

部会登録者数：12名

④ エネルギー環境保全マネジメント研究部会

メインテーマ：エネルギー・環境問題への取組みは、変化する法への適合、光熱水 2030年の望ましい電源構成(エネルギーミックス)や温暖化ガス排出削減目標が発表される等、エネルギー分野で大きな変革が起きようとしている。当部会では、これら大変革を踏まえたファシリティ・マネジメントのあり方等についての調査・研究を行う。

部会登録者数：23名

⑤ CREマネジメント研究部会

メインテーマ：中長期的な視点に立脚して企業活動を支えるとともに、企業価値向上に貢献することを目的とした企業不動産(CRE)マネジメントに関する体系的な手法研究及び国内企業への普及・促進

部会登録者数：23名

⑥ インフラマネジメント研究部会

メインテーマ：老朽化の進んだインフラに対し、官民連携を基本に包括維持管理

よるインフラマネジメントの導入を目指し、地方自治体に対する調査、人材育成、及び ISO の活用等について調査研究を実施する。

部会登録者数：29名

(2) 施設事例研究分野

① キャンパスFM研究部会

メインテーマ：「大学改革を支援する FM を目指して」

部会登録者数：36名

② ヘルスケアFM研究部会

メインテーマ：健康・医療・福祉に関わる施設経営戦略を包括的に扱うHC FMの導入・普及

部会登録者数：35名

③ 公共施設FM研究部会

メインテーマ：パブリック FM の普及推進と安心・安全の社会に向けた公有資産の品質向上への取り組み調査・研究

部会登録者数：137名

④ ユニバーサルデザイン研究部会

メインテーマ：ワークプレイス（オフィス）のユニバーサルデザイン研究

サブテーマ：・ダイバーシティに関する調査・研究

（ワークプレイスにおける人材多様性に関する情報収集、とりまとめ、調査・研究等の継続）

・健康経営に関する調査・研究

（新しい潮流である健康経営の流れ、WBSの研究）

部会登録者数：16名

(3) 固有技術研究分野

① 運営維持手法研究部会

メインテーマ：～『納得感のもてる最良の運営維持』を目指して～

ユーザーの視点に立ったファシリティ運営維持業務とその評価に関するあり方を探る

部会登録者数：20名

② 品質評価手法研究部会

メインテーマ：「サステイナブル -BCP と環境-」

部会登録者数：16名

③ FM財務評価手法研究部会

メインテーマ：①FM財務評価手法の部分改訂案の検討

②企業財務関連の知識吸収

③FM財務評価手法の普及啓発

部会登録者数：29名

④ オフィスワークプレイスの知的生産性研究部会

メインテーマ：知的生産性を支えるワークプレイス・モデル「SOF」（ワークスタイル、組織、ファシリティ）の研究開発と、実践のためのツールづくり。

部会登録者数：26名

⑤ コンピュータ活用研究部会

メインテーマ：「FM領域に係わる ICT 新技術の調査」

「CAFMシステムの活用事例の調査」

「Eco・Lcc削減を可能にする環境配慮型 ICT 新技術の調査」

部会登録者数：28名

⑥ BIM・FM研究部会

メインテーマ：BIM・FM連携ガイドライン作成

BIM・FM連携によるBIMおよびファシリティマネジメントの高度化

2015年4月発行のガイドブックによるFMでのBIM活用推進

部会登録者数：50名

3.4.2 ファシリティマネジメント国際標準化（ISO）策定作業への対応

FMのISO国際標準化並びに新しいFMのマネジメント規格に対する状況報告のため国内専門委員会を4回開催した。また、海外で開催のISO/TC267 ファシリティマネジメントWG3国際会議に参加し、国際標準化（ISO）策定作業に参画した。

3.4.3 海外ファシリティマネジメント調査団

平成28年9月18日～25日に、25名で構成する調査団を、海外のファシリティマネジメント事情を調査する目的で、オーストラリア、ニュージーランドに派遣した。

3.5 ファシリティマネジメントに関する広報事業（詳細付6参照）

ファシリティマネジメントに関する広報を目的として、ホームページの開設運用、メールマガジンの定期的な発行、機関誌の定期的な発行、新聞雑誌等マスコミへの広告、JFMA FORUMを活用した情報発信と展示会及び地方自治体等公共機関への広報を行った。

3.5.1 機関誌「JFMAジャーナル」の定期的な発行

機関誌「JFMAジャーナル」をさらに充実し、新たな特集内容で刊行した。今期は、春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）および冬号（1月）の年4回、季刊誌として発行し、会員に頒布した。

3.5.2 Web版「JFMAジャーナル・ONLINE」の運用

JFMAからの周知事項、会員情報等をタイムリーに知らせる必要があるため、インターネットを利用し、毎月Web上にタイムリーな情報を掲載する「JFMAジャーナル・ONLINE」の運用を行った。

3. 5. 3 ホームページの運用

わが国を代表するファシリティマネジメント関連組織として、随時必要な改定を行い、常に新鮮な情報提供を行った。平成 28 年度末において、約 95 万回アクセスのあるウェブサイトとなった。

3. 5. 4 メールマガジンの定期的な発行

ファシリティマネジメントに関する最新情報を、一般向けメールマガジン「JFM A I L」として月平均 2 回、約 7,000 人の登録者へ合計 26 回発信した。

公共機関関係向けのメールマガジン「公共FM推進ネット」は月平均 1 回、244 団体の地方自治体等登録者約 280 人へ合計 16 回発信した。

3. 5. 5 マスメディア、その他広くネットワークを持つ方法の活用

FMの広報手段として、マスメディアの活用を行った。また、会員企業の社内誌等も積極的に協力を頂いた。

3. 5. 6 「ファシリティマネジメントフォーラム 2017」の スポンサー募集と ガイドブック等発行

会員企業及び会員企業以外の企業 49 社より数種類のスポンサー（プライム、コンサート、おもてなし、ダイヤモンド、ゴールド、シルバー）を募った。スポンサー広告を掲載するガイドブックを 3,500 部発行した。

3. 6 ファシリティマネジメントに関する交流事業 （詳細付 7. 参照）

今期は、主として下記の交流を行った。

(1) ファシリティマネジメントフォーラムにおける交流

- ・ JFMA 賞授賞式とネットワークングパーティーを平成 29 年 2 月 23 日にタワーホール船堀瑞雲の間にて行い、280 名の参加を得て交流を行った。

(2) 海外の FM 関連団体との交流

- ・ 韓国第 22 回国際シンポジウム（平成 28 年 11 月 10 日～11 日）に参加して講演を行うとともに、講演後のネットワークングパーティーにて活発な意見交換を行った。
- ・ ファシリティマネジメントフォーラムのグローバル FM サミット（平成 29 年 2 月 24 日）において、米国、韓国、マカオが来日し、各国の最新の FM 事情を発表し、意見交換を行った。

(3) その他

- ・国内 FM 関連団体（北海道 FM 協会、四国 FM 協会他）、学会、大学、地方公共団体等とセミナー等で交流した

3. 7 第 11 回日本ファシリティマネジメント大会（ファシリティマネジメントフォーラム 2017）

2017 年 2 月 22 日（水）～2 月 24 日（金）の 3 日間、タワーホール船堀（江戸川区船堀 4-1-1）にて第 11 回日本ファシリティマネジメント大会（ファシリティマネジメントフォーラム 2017）を開催した。

基調講演、特別講演、企画講演、一般講演、JFMA 賞受賞講演、調査研究部会講演、初心者向け講演、シンポジウム、パネルディスカッション、グローバル FM サミット等、合計 85 件のセミナーで構成し、このほかに、23 団体が出展した展示会、JFMA 賞授賞式、ネットワーキングパーティなど多様なプログラムを実施した。延べ参加者数は約 4,150 名。

3. 8 その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

JFMA 機関誌「JFMA JOURNAL(ジャフマジャーナル)」の刊行（計 14,500 部）に加えて、「ファシリティマネジメント キーワード集 2016-2017」（計 2,000 部）、「公共ファシリティマネジメント戦略」（計 500 部）、「認定ファシリティマネジャー資格試験問題集・平成 29 年度版」の刊行（計 1,500 部）と「第 4 の経営基盤」の増刷（計 500 部）を行った。

4. 事業内容（収益事業等）

4. 1 会員相互の交流を図る事業「その他事業（相互扶助事業等）」

今期は、主として下記の交流を行った。

- ① 法人会員代表者交流会を平成 29 年 10 月 12 日にロイヤルパークホテルにて開催した。会員企業代表者・関係者が 120 余名来場し、法人会員同士の交流が行われた。
- ② 新春賀詞交歓会を平成 29 年 1 月 18 日にロイヤルパークホテルにて開催した。例年は JFMA 事務所の会議室で開催しているが、JFMA 設立 30 周年を記念して、個人会員も含めた多くの方々との交流の場を設けることを目的に、大きな会場での開催となった。企業会員、個人会員、来賓等の関係者の計 250 余名での賀詞交歓会となった。

付. 目 次

付1. 委員会	29
1. 企画運営委員会	31
2. 資格制度関連委員会	31
3. 調査研究委員会	32
4. 教育研修委員会	32
5. 広報委員会	33
6. FM推進戦略委員会	33
7. JFMA賞審査委員会	33
8. ISO/TC267 ファシリティマネジメント国内専門委員会	34
9. コンプライアンス委員会	34
付2. 資格認定事業	35
1. 認定ファシリティマネジャー資格試験	37
2. 認定ファシリティマネジャー資格登録	37
3. 認定ファシリティマネジャー資格更新登録	38
4. 総解説「ファシリティマネジメント」の改訂	38
5. 認定ファシリティマネジャー合格者・資格登録者等の現状	39
付3. 教育研修事業	41
1. 初級FMスクールの実施	43
2. 日本ファシリティマネジメント大会（ファシリティマネジメントフォーラム2017） でのセミナー	43
3. ウィークリーセミナー	50
4. 専門分野特別セミナー	51
5. ファシリティマネジメント上級セミナー	53
6. 公共向けFMセミナー	53
7. JFMA FMサマースクール2016	55
8. 通信教育	56
付4. 表彰事業	57
付5. 調査研究事業	63
1. 調査研究部会活動	65
2. ファシリティマネジメント国際標準化（ISO）への対応	77

3. 海外ファシリティマネジメント調査団	77
付6. 広報事業	79
1. ファシリティマネジメントに関する広報事業	81
2. 機関誌「JFMA ジャーナル」の定期的な発行	81
3. Web版「JFMA ジャーナル・ONLINE」の運用	81
4. ホームページの運用	82
5. メールマガジンの定期的な発行	83
6. 「ファシリティマネジメントフォーラム」のスポンサー募集とガイドブック等発行	84
付7. 交流事業	85

付 1. 委員会

付1 委員会

今期は下記のとおり実施した。

1. 企画運営委員会

- (1) 第149回企画運営委員会 平成28年5月10日(火)
主な議題：平成28年度第1回理事会の議案書について
- (2) 第150回企画運営委員会 平成28年8月2日(火)
主な議題：ファシリティマネジメントフォーラム企画案について
- (3) 第151回企画運営委員会 平成28年10月11日(火)
主な議題：JFMA運営に関する意見交換
- (4) 第152回企画運営委員会 平成28年12月21日(月)
主な議題：来年度事業計画に関する意見交換
- (5) 第153回企画運営委員会 平成29年2月14日(火)
主な議題：第3回通常理事会の議案書の件について

2. 資格制度関連委員会

今期は下記のとおり実施した。

A. 資格制度委員会

- (1) 第1回資格制度委員会 平成28年8月30日(火)
主な議題：試験問題、答案の作成及び採点基準の承認、C方式終了考査問題の承認、試験合格者の決定等について
- (2) 第2回資格制度委員会 平成28年12月20日(木)
主な議題：次年度試験委員・更新講習委員の承認、更新講習修了者の決定等について

B. 試験委員会

- (1) 第3回試験委員会 平成28年4月9日(土)
主な議題：試験問題案の審議検討等について
- (2) 第4回試験委員会 平成28年4月22日(金)
主な議題：試験問題案の審議検討等について
- (2) 第5回試験委員会 平成28年7月30日(土)
主な議題：論述採点について
- (3) 第6回試験委員会 平成28年12月13日(火)
主な議題：資格制度委員会等の報告について

C. 更新講習委員会

- (1) 第4回更新講習委員会 平成28年4月11日(月)
主な議題：テキスト記載事項の選択と協議

- (2) 第5回更新講習委員会 平成28年5月16日(月)
主な議題：C方式修了審査問題作成方針審査
- (3) 第6回更新講習委員会 平成28年6月13日(月)
主な議題：テキスト原稿(案)審議、C方式修了審査問題作成内容の審議および
D方式のPPT原稿作成方針の審議
- (4) 第7回更新講習委員会 平成28年7月11日(月)
主な議題：事項の原稿(案)の最終確認
C方式修了審査問題最終確認およびD方式のPPT作成原稿(案)審議
- (5) 第8回更新講習委員会 平成28年8月22日(月)
主な議題：D方式PPT原稿(案)審議
- (6) 第9回更新講習委員会 平成28年9月12日(月)
主な議題：D方式PPT最終原稿(案)の審議と確認
- (7) 第10回更新講習委員会 平成28年12月5日(月)
主な議題：更新講習課程修了予定者の確認と承認

3. 調査研究委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第103回調査研究委員会 平成28年4月28日(木)
主な議題：会長との意見交換、平成28年度活動方針
- (2) 第104回調査研究委員会 平成28年7月28日(木)
主な議題：調査研究部会の活動状況報告、FM秋の夜学校について
- (3) 第105回調査研究委員会 平成28年10月27日(木)
主な議題：調査研究部会の活動状況報告、ファシリティマネジメントフォーラム2017について
- (4) 第106回調査研究委員会 平成29年1月26日(木)
主な議題：JFMAジャーナルR3の発刊、新研究部会の発足について

4. 教育研修委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第1回教育研修委員会 平成28年6月23日(木)
主な議題：JFMA FORUM2016の報告とJFMA FORUM2017に向けて
- (2) 第2回教育研修委員会 平成28年9月21日(木)
主な議題：FMサマースクール2016の報告
- (3) 第3回教育研修委員会 平成28年12月15日(木)
主な議題：ファシリティマネジメントフォーラム2017に向けて
- (4) 第4回教育研修委員会 平成29年3月9日(木)
主な議題：ファシリティマネジメントフォーラム2017の報告

5. 広報委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第114回広報委員会 平成28年5月24日(火)
主な議題：今年度の活動方針及びJFMAジャーナル編集について
- (2) 第115回広報委員会 平成28年6月2日(木)
主な議題：JFMAジャーナル編集について
- (3) 第116回広報委員会 平成28年7月21日(金)
主な議題：JFMAジャーナル編集について
- (4) 第117回広報委員会 平成28年10月24日(月)
主な議題：JFMAジャーナル編集について
- (5) 第118回広報委員会 平成29年1月27日(金)
主な議題：JFMAジャーナル編集について

6. FM推進戦略委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第27回ファシリティマネジメント推進戦略委員会 平成28年4月6日(水)
主な議題：国際的な資産評価に関する団体である英国RICSの最新情報
- (2) 第28回ファシリティマネジメント推進戦略委員会 平成28年6月1日(水)
主な議題：ONEP・Fi(国際環境計画金融イニシアティブ)不動産ワーキングレポートの紹介
- (3) 第29回ファシリティマネジメント推進戦略委員会 平成28年8月3日(水)
主な議題：公共FMをテーマとした最新の動向について
- (4) 第30回ファシリティマネジメント推進戦略委員会 平成28年10月5日(水)
主な議題：公共FMについて
- (5) 第31回ファシリティマネジメント推進戦略委員会 平成28年12月7日(水)
主な議題：「FMについて考えること」、「FMの国際動向について」
- (6) 第32回ファシリティマネジメント推進戦略委員会 平成29年2月1日(水)
主な議題：不動産テック(Real Estate Tech)の最新動向

7. JFMA賞審査委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第1回JFMA賞審査委員会 平成28年10月20日(木)
主な議題：表彰規程概要、今後の進め方について
- (2) 第2回JFMA賞審査委員会 平成28年12月8日(木)
主な議題：各賞推薦対象案件説明、各賞入賞案件決定、今後スケジュールについて

8. ISO/TC267 ファシリティマネジメント国内専門委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第6回 ISO/TC267 ファシリティマネジメント国際会議 平成28年10月3日(月)～4日(火)
主な議題：「ISO/DIS/41001」に関するコメントについて
- (2) 第10回 ファシリティマネジメント専門委員会 (TC267) 平成28年5月18日(水)
主な議題：6月2日～4日にメルボルンで開催される全体会議への対応
- (3) 第11回 ファシリティマネジメント専門委員会 (TC267) 平成28年9月12日(月)
主な議題：10月3日～4日にサンディエゴで開催されるWG3会議への対応
- (4) 第12回 ファシリティマネジメント専門委員会 (TC267) 平成28年10月19日(水)
主な議題：「ISO/DTR/41013」投票に対する対応
- (5) 第13回 ファシリティマネジメント専門委員会 (TC267) 平成29年2月7日(火)
主な議題：「ISO/FDIS/41011」、「ISO/FDIS/41012」投票に対する対応

9. コンプライアンス委員会

今期は下記のとおり実施した。

- (1) 第1回 コンプライアンス委員会 平成28年11月29日(水)
主な議題：職員証裏面の記載変更、マイナンバー取扱規則の概要について
- (2) 第2回 コンプライアンス委員会 平成29年3月1日(水)
主な議題：マイナンバー保管及び就業規則整備の件

付 2 . 資格認定事業

付2 資格認定事業

ファシリティマネジメントの専門家として、「ファシリティマネジャー資格者」を一般社団法人ニューオフィス推進協会及び公益社団法人ロングライフビル推進協会と連携して認定する。このため、認定ファシリティマネジャー資格試験、資格登録、資格更新を制度化している。資格試験を平成9年度から毎年1回実施し、平成28年度までに、13,684名の合格者を輩出し、認定した資格登録者総数は6,645名である。受験資格は定めず、誰でも受験できるが、資格登録のためには、一定の実務経験を要することを定めている。資格の有効期間を5年とし、資格更新のために必要な講習会を毎年3回実施している。認定ファシリティマネジャー資格者は、わが国及び海外の企業団体等にあつて、ファシリティマネジメントの実務を担っている。

1. 認定ファシリティマネジャー資格試験

次のとおり実施した。

- | | |
|------------|--|
| (1) 試験日 | 平成28年7月10日(日) |
| (2) 試験会場 | 東京 立教大学 8号館、11号館
大阪 大阪工業大学 大宮校地 2号館
札幌 札幌商工会議所 北海道経済センター
名古屋 名古屋商工会議所)
福岡 天神ビル
仙台 国際マルチビジネス専門学校
広島 R C C文化センター
金沢 石川県教育会館
高松 高松商工会議所 |
| (3) 試験内容 | 学科試験および論述試験 |
| (4) 受験申込期間 | 平成28年4月1日～5月13日 |
| (5) 合否発表 | 平成28年9月1日 |
| (6) 申込者数 | 1,315名 |
| (7) 受験者数 | 1,070名 |
| (8) 合格者数 | 470名(43.9%) |

2. 認定ファシリティマネジャー資格登録

認定ファシリティマネジャー資格試験の合格者のうち、一定の実務経験保持者で申請のあった者に対し、「認定ファシリティマネジャー資格者(CFMJ)」の称号を付与し登録する。登録申請は、試験合格の後、いつでも行うことができるが、合格後5年を経過した場合、更新講習を受講することを要する。今年度登録者数は387名。内、今年度合格した者は320名。

3. 認定ファシリティマネジャー資格更新登録

認定ファシリティマネジャー資格の有効期間が5年であることから、資格有効期間が満了する者を対象として、次の4とおりの方式で資格更新を行う。

なお、すでに資格有効期間が過ぎ更新していない者があらためて資格登録を希望する場合、および試験合格後5年を経過した者がはじめて資格登録を行おうとする場合、下記の「C方式（在宅講座）」または、「D方式（集合講座）」を受講することにより資格登録を行うことが出来る。

(1) 方式

- A 個人会員
- B FM活動ポイント
- C 在宅講座
- D 集合講座

(2) 申込受付期間

平成28年8月1日～平成28年9月20日

(3) D方式による集合講座の日程と開催地

東京1回目 平成28年10月6日(木) (日本教育会館 8階 第一会議室)

東京2回目 平成28年10月7日(金) (日本教育会館 8階 第一会議室)

大阪 平成28年10月21日(金) (大阪商工会議所 1号会議室)

(4) 更新者の数 合計807名 平成29年3月31日現在

- A方式 87名
- B方式 17名
- C方式 216名
- D方式 487名

4. 総解説「ファシリティマネジメント」の改訂

わが国ファシリティマネジメントの標準的テキストであり、認定ファシリティマネジャー資格試験の出題ソースとして使われている「総解説ファシリティマネジメント」(2003年刊)及び「総解説ファシリティマネジメント追補版」(2009年刊)の見直しを実施している。

平成29年秋の完成を目標として、近年における社会情勢の変化に合わせて、ファシリティマネジメントやアセットマネジメントのISO化や公共FMの進展、各種法改正などを網羅しつつも、コンパクト化を図った構成内容とする、時代に最適なファシリティマネジメントの教科書を刊行する。

5. 認定ファシリティマネジャー合格者・資格登録者等の現状

(1) 認定ファシリティマネジャー 合格者／登録者の内訳

認定ファシリティマネジャー(CFMJ) 資格者統計データ(受験者数・合格者数・資格登録者数)

2017年 3月31日 現在

年度	資格試験 CFMJ(日本)				合格者 CFMJ(日本)								資格登録者 CFMJ(日本) ^{※1}			相互認証 資格登録者 CFM(米国) ^{※2}		
	受験 申込者 (人)	受験 者A (人)	合格 者B (人)	合格 率 B/A (%)	平均 年齢 (歳)	最 高 年 齢 (歳)	最 低 年 齢 (歳)	男 性 (人)	男 性 比 率 (%)	女 性 (人)	女 性 比 率 (%)	新 規 登 録 者 (人)	更 新 登 録 者 (人) ^{※3}	有 効 登 録 者 (人)	新 規 登 録 者 (人)	更 新 登 録 者 (人)	有 効 登 録 者 (人)	
1	1997年 (平成9年度)	2,316	2,132	981	46.0	40.0	70	25	941	95.9	40	4.1	1,660 ※4	-	1,660	-	-	-
2	1998年 (平成10年度)	2,001	1,809	753	41.6	39.3	64	25	720	95.6	33	4.4	862 ※4	-	2,522	-	-	-
3	1999年 (平成11年度)	1,688	1,489	640	43.0	39.0	65	25	605	94.5	35	5.5	772 ※4	-	3,294	-	-	-
4	2000年 (平成12年度)	2,022	1,783	895	50.2	39.5	61	25	864	96.5	31	3.5	895	-	4,189	-	-	-
5	2001年 (平成13年度)	2,463	2,172	861	39.6	39.1	64	22	815	94.7	46	5.3	634	-	4,823	972	-	972
6	2002年 (平成14年度)	2,517	2,145	927	43.2	39.2	63	20	882	95.1	45	4.9	694	959	5,517	160	-	1,132
7	2003年 (平成15年度)	2,399	2,052	824	40.2	37.7	66	22	761	92.4	63	7.6	635	743	5,437	31	155	897
8	2004年 (平成16年度)	1,932	1,653	684	41.4	39.5	61	20	633	92.5	51	7.5	527	575	5,858	51	113	941
9	2005年 (平成17年度)	2,017	1,677	683	40.7	37.7	62	20	621	90.9	62	9.1	550	514	6,212	45	54	886
10	2006年 (平成18年度)	1,651	1,349	555	41.1	37.0	68	22	494	89.0	61	11.0	448	527	6,279	35	31	835
11	2007年 (平成19年度)	1,701	1,395	540	38.7	37.9	61	20	491	90.9	49	9.1	433	1,165	6,514	9	22	667
12	2008年 (平成20年度)	1,748	1,436	635	44.2	36.1	65	19	568	89.4	67	10.6	466	892	6,540	12	26	384
13	2009年 (平成21年度)	1,488	1,272	510	40.6	41.6	66	20	456	89.4	54	10.6	413	783	6,468	13	7	293
14	2010年 (平成22年度)	1,324	1,137	490	43.1	39.5	65	21	432	88.2	58	11.8	376	748	6,363	9	4	162
15	2011年 (平成23年度)	1,217	1,071	471	43.8	38.7	62	21	419	89.0	52	11.0	380	683	6,406	61	3	161
16	2012年 (平成24年度)	1,174	1,025	450	43.9	39.1	67	21	406	90.2	44	9.8	389	1,176	6,521	191	82	382
17	2013年 (平成25年度)	1,196	1,034	450	43.5	38.8	65	24	394	87.6	56	12.4	391	985	6,453	-	-	333
18	2014年 (平成26年度)	1,224	1,075	472	43.9	39.0	62	21	413	87.5	59	12.5	398	878	6,447	-	-	333
19	2015年 (平成27年度)	1,283	1,074	473	44.0	40.3	67	22	417	88.2	56	11.8	426	823	6,565	-	-	302
20	2016年 (平成28年度)	1,315	1,070	470	43.9	41.1	69	21	407	86.6	63	13.4	387	807	6,645	-	-	261
	1997-2016 年度累計	34,676	29,850	12,764	-	-	-	-	11,739	-	1,025	-	-	-	-	-	-	-

★各年度の資格登録者数は3月31日時点のものです。但し、最新年度は上記の日付に従います。

CFMJ(Certified Facility Manager of Japan)

--日本のファシリティマネジメント資格制度協議会が認定するファシリティマネジャー資格

CFM(Certified Facility Manager)

--米国の国際ファシリティマネジメント協会(IFMA:International Facility Management Association)が認定するファシリティマネジャー資格

1.登録者とは、資格の新規登録申請を行い、認定ファシリティマネジャー(CFMJ)となった方です

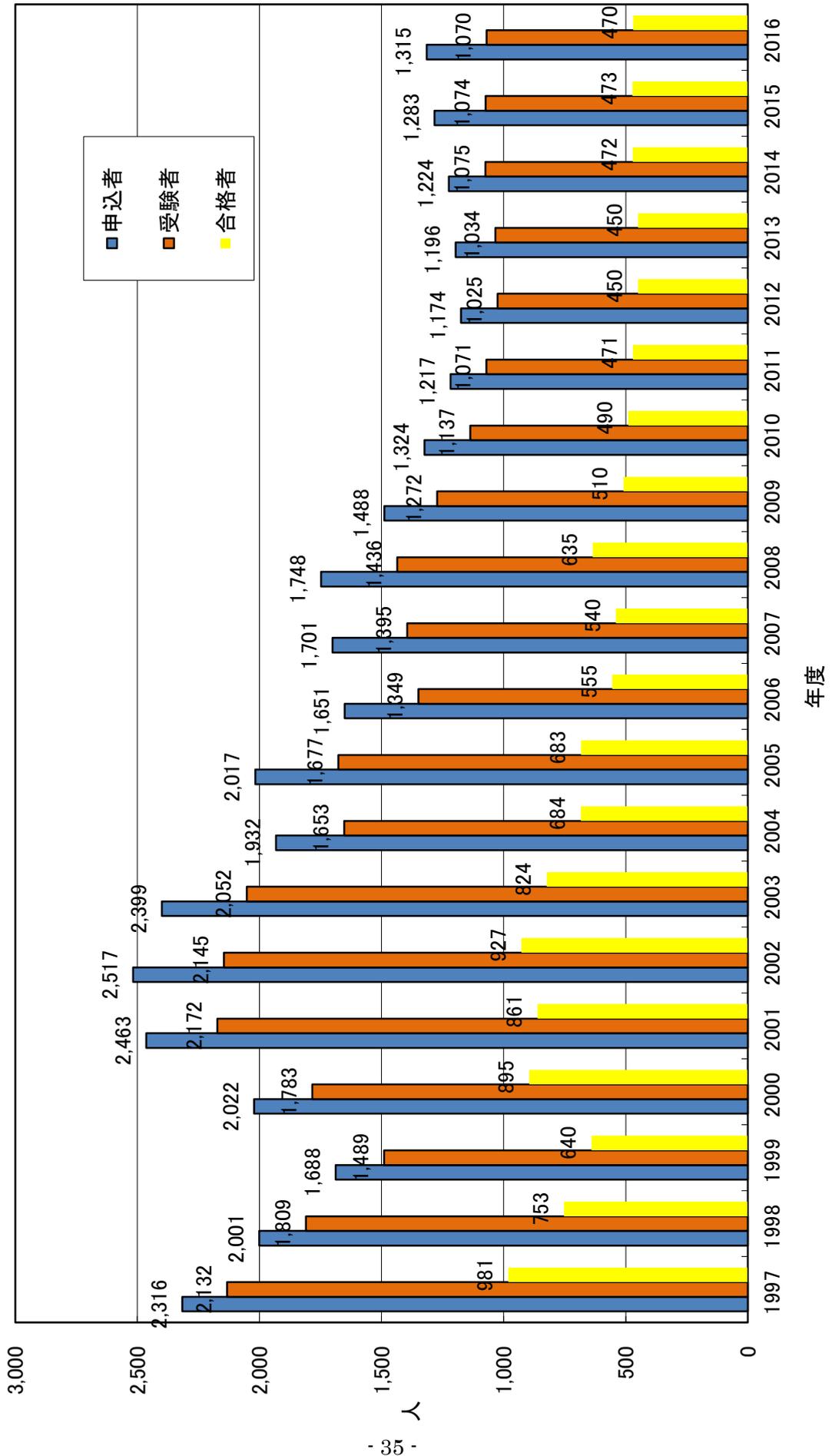
2.相互認証CFM資格登録者とは、CFMJ資格登録後、相互認証制度により、CFM資格登録を行った方です

3.資格更新登録者には、登録有効期間(合格または更新後5年)の満了にともない継続して登録した方、登録有効期間を過ぎて失効し再登録した方、資格試験合格後5年以内に初回登録をせず更新講習を受講した後に新規登録をした方、が含まれます。

4.1997年度・1998年度・1999年度の新規資格登録者には、それぞれ、特別講習修了者、679人・109人・132人がそれぞれ含まれます。但し、特別講習は、1997年度から3か年の特別措置として実施され、現在は終了しています。

(2) 認定ファシリティマネジャー資格 受験者／合格者の年度別推移

受験者／合格者数推移について



付 3. 教育研修事業

付3 教育研修事業

1. 初級FMスクールの実施

ファシリティマネジメントの初心者を対象とした初級FMスクールを、初心者用テキスト及び副読本には「第四の経営基盤」を用いて、計3回開催し、合計77名が受講した。

テーマ	「FMを知る。経営を知る」
開催日時	【第1回】平成28年8月4日(木)10時00分～17時30分 【第2回】平成28年10月13日(木)10時00分～17時30分 【第3回】平成28年12月2日(金)10時00分～17時30分
場所	東京：JFMA会議室 【第1回～第3回】、
講師	松岡 利昌 (株式会社松岡総合研究所 代表取締役) 松成 和夫 (プロコード・コンサルティング代表) 似内 志朗 (日本郵政株式会社 不動産企画部部長) 成田 一郎 (JFMA専務理事)
受講料	会員 10,000円 非会員 15,000円
受講者	【第1回】27名 【第2回】22名 【第3回】28名

2. 日本ファシリティマネジメント大会 (ファシリティマネジメントフォーラム 2017) でのセミナー

- (1) テーマ 『FM思考で社会・経営の課題を解決する』
- (2) 日程 平成29年2月22日(水)～24日(金)
- (3) 会場 タワーホール船堀 (江戸川区船堀4-1-1) 都営新宿線船堀駅前)
- (4) 来場者数 延べ参加者数4,150名。
- (5) プログラム構成

次のとおり、合計85件で構成。

- ① 基調講演 … 1件
- ② 特別講演 … 2件
- ③ JFMA賞受賞講演 (平成28年度JFMA賞優秀ファシリティマネジメント賞受賞者による受賞内容に関する講演) … 6件
- ④ 一般講演 64件
- ⑤ 初級FMセミナー 3件
- ⑥ シンポジウム 4件
- ⑦ パネルディスカッション 4件
- ⑧ グローバルFMサミット 1件
- ⑨ 展示会出展者 23社 (団体)

(6) プログラム内容

2/22日(水) セミナー・イベントスケジュール

時間	会場	5F 大ホール	
13:30		主催者挨拶	 山田 匡通 JFMA会長
13:40		山田 匡通 JFMA会長	
13:40		特別講演 1	 樋口 泰行 日本マイクロソフト執行役員 会長
14:40	60分	挑戦を加速する、働き方改革 -変化をチャンスにするITの底力-	
14:50		特別講演 2	 川元 茂 国土交通省大臣官房 官庁管轄部長
15:50	60分	官公庁施設の防災と建物劣化対策	
16:00		公共FM入門	 松成 和夫 プロコード・コンサルティング
16:50	50分	公共FM戦略再考	
17:00		経営・海外FM入門	 松岡 利昌 松岡総合研究所
17:50	50分	経営面から見る海外FM最新事情	
18:00		初級FM入門	 成田 一郎 JFMA専務理事
18:50	50分	ゼロから始めるFM -JFMA賞の事例を通して-	
19:00		FMコミュニケーション	 ユーザー懇談会 ほか
20:30	90分	ここでしか聞けないホンネのFM	

JFMA

2/23日(木) セミナー・イベントスケジュール

会場	1F ホール	会場	
時間	9:40 10:00	時間	10:30 12:00 90分
	展示会		
	オープニングセレモニー		

12:00-13:20

昼食休憩

会場	5F 小ホール	2F 蓬 萊	2F 瑞 雲	2F 平 安
時間	13:20 14:10 50分	14:20 15:10 50分	15:10 16:40 50分	16:50 17:40 50分
	病院FM	ワークプレイス・働き方	品質・リスク	公共FM・インフラ
	病院FMシンポジウム 実力病院の ベストプラクティスに学ぶ 「聖路加国際病院と 日本看護協会でのQI活動」 福井 次矢・岩澤 由子 聖路加国際病院 日本看護協会 加藤 哲夫 アイネット・システムズ 和泉 隆 (モアレター) 帝京大学	健康経営に貢献する ワークプレイス -平成27年度経済産業省 調査事業報告- 高原 良 イトーキ オフィス・ワークプレイスの 知的生産性研究部会 知的生産性を支える ワークプレイスモデル「SOF」 50項目の検証 髙藤 敦子・菅野 文恵 他 ココロ ゼロイン	鉄道会社における 建物施設の ファシリティマネジメント の実践事例 大井 清一郎 京東日本ビルテック ファシリティリスクの 評価手順 -正しいクライテリアの設定で、 被災は最小限にできる- 関山 雄介 大成建設	公共FMにおける アジア展開の可能性 -日本・韓国・台湾の現状- 李 祥準 関東学院大学 青森県のFMと県庁舎 耐震・長寿命化 改修計画 越田 昌樹 青森県

15:10-15:50

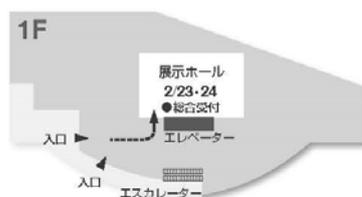
インターミッション

時間	15:50 16:40 50分	16:50 17:40 50分	17:40 18:30 50分	18:30 20:30
	JFMA賞 授賞式 15:50 受付 16:10 開会 18:00 閉会	はたらき方を設計 する時代に向けて、 今できること 池田 見一 同村製作所 データから見る 働き方の多様化と 企業不動産の未来 石崎 真弓 ザイマックス不動産総合研究所	アスベスト対策の 重要性と 最新の社会情勢 宮崎 恒一 エコ・24 祝賀会準備	公共施設FM研究部会 FM思考で公共施設 再編からの地域創世・ 公共施設経営へ 安藤 秀徳 東京美談興業 浮穴 浩一 大和リース 村林 正次 庶務総合研究所 インフラマネジメント研究部会 インフラマネジャーの育成 「インフラメンテナンス国民 会議活動について」 中川 均・岩佐 宏一 ガイアート アイセイ

17:40-18:30

インターミッション

時間	18:30 20:30	18:30~20:30 (受付 18:00から) 参加費 5,000円 (会員・非会員共)
	ネットワーキングパーティ JFMA賞 授賞祝賀会 2F 瑞雲の間	



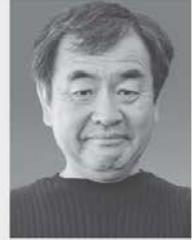
JFMA

5F 大ホール

基調講演

講演テーマ 「木の時代へ」

隈 研吾 建築家



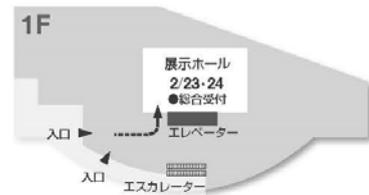
隈 研吾
建築家

2F 福寿	2F 桃源	4F 研修室	4F 401	1F 展示ホール
環境・エネルギー	FM戦略・CRE	FM調査研究	企業・団体プレゼンテーション	10:00 18:30 展示会 FM川柳 投票 ドリンクバー
<p>建築家(設計事務所)と共創する ファシリティマネジメント</p> <p>筒井 信也 日本建築家協会</p> <p>26%事業生産性を向上させた 日本マイクロソフトの働き方改革実例</p> <p>輪島 文 日本マイクロソフト</p>	<p>CREマネジメント研究部会</p> <p>CREマネジメントと企業経営</p> <p>大野 見敬 東京オペラシティビル 佐藤 俊朗 ジョーンズラングラサール 百嶋 徹 ニッセイ基礎研究所</p> <p>不動産×テックの最新潮流/ICTを活用したビル不動産管理</p> <p>板谷 敏正 プロパティデータバンク</p>	<p>運営維持手法研究部会</p> <p>-運営維持の視点で「きっかけづくり」- 実務者が語る身近な省エネルギーの話 その2</p> <p>吉瀬 茂・畠山 貴紹 他 JPビルマネジメント・ソニーコーポレートサービス</p> <p>品質評価手法研究部会</p> <p>ファシリティ品質から見たサステナビリティ - BCP・環境 -</p> <p>野瀬 かおり ファシリティマネジメント総合研究所</p>	<p>●13:20 ~ 13:40 コアネット・ジャパン 浦川 誠 コアネット・グローバル世界最先端のワークプレイスコミュニティ</p> <p>●13:50 ~ 14:10 マースジャパンリミテッド 常木 一成 オフィスにおけるコーヒーの役割-健康経営の観点から</p> <p>●14:20 ~ 14:40 シービーアールイー 矢島 祥裕 日本の大転換期におけるファシリティ戦略</p> <p>●14:50 ~ 15:10 竹中工務店 米谷 紗蓮子 ワークスタイル改革をサポートする竹中工務店の取組み</p>	
<p>まちづくり形成におけるBCD構築の必要性</p> <p>柳田 憲一 関西電力</p> <p>自治体・公共施設における温暖化防止・省コスト大全</p> <p>緑川 道正 Fun Space</p>	<p>社員への意識調査に見る“効果的なFMアプローチ”とは?</p> <p>平出 英仁 ディー・ライン</p> <p>ダイヤモンドと月刊総務が考える、会社を変える経営総務とは</p> <p>豊田 健一・田村 淳一 ライスワース ディアモンド社</p>	<p>ヘルスケアFM研究部会</p> <p>ヘルスケアFMのこれから - 皆様と共有すること -</p> <p>上坂 修 ヘルスケアFM研究所</p> <p>リスクマネジメント研究部会</p> <p>FMを取り巻くリスクマネジメント</p> <p>上倉 秀之・関山 雄介 セノン 大成建設</p>	<p>●15:50 ~ 16:10 住友セメントシステム開発 熊澤 幸之 情報の蓄積と共有、その先へ</p> <p>●16:20 ~ 16:40 ジョーンズラングラサール 森 本一 「稼ぐ力」を高めるためのCRE戦略のお手伝い</p> <p>●16:50 ~ 17:10 いのうえFMコンサルティング 井上 英夫 関西FMコラボの華！自己革新と発見の「場」を提供</p> <p>●17:20 ~ 17:40 エフエム・スタッフ(イトーキ) 青木 規夫 「公共施設等総合管理計画」策定後に必要なFMの取組み</p>	

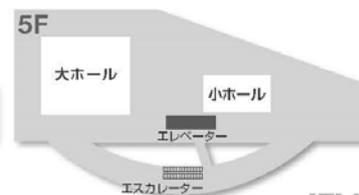
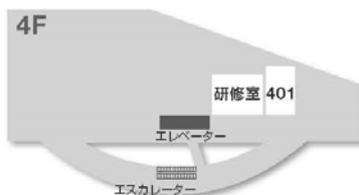
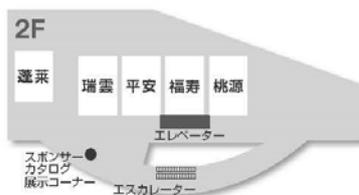


2/24日(金) セミナー・イベントスケジュール

会場	5F 小ホール	2F 蓬萊	2F 瑞雲	2F 平安
時間	グローバル・ISO	FM一般	JFMA賞受賞講演	FMサイクル
10:30 11:20 50分	グローバルFMサミット 各国代表が語る FM最新動向 米 国 (IFMA代表) 韓 国 (KFMA代表) マカオ (MFMA代表) ●コーディネータ 松岡 利昌 松岡総合研究所 ●アシスタントコーディネータ 三島 佳名恵 大成建設 ※同時通訳なし	ファシリティマネジャーが 知っておくべき HACCPの基礎知識 大高 宣光 <small>KENアソシエイト</small>	●JFMA賞 最優秀FM賞 <small>(純澤賞)</small> 魅力あるまちづくりを FMで(魅せるFM) 青森県弘前市 加藤 和憲	デジタル化を支える 最先端のICT環境と 設備 鈴木 敦史 <small>日本マイクロソフト</small>
11:30 12:20 50分	健康経営 シンポジウム 近未来スタンダード 一立ち仕事のすすめ JFMA×JOIFA <small>日本オフィス家具協会</small> ×GBJ <small>グリーンビルディングジャパン</small> 似内 志朗・川島 実 <small>日本郵政</small> <small>ウォンエルフ</small> 齋藤 敦子 ・ 重綱 鉄哉 <small>コクヨ</small> <small>JOIFA</small> 高原 良 ・ 東川 麻子 <small>イトーキ</small> <small>産業医</small> 金 英範 <small>ファシリティマネジャー</small>	ユーザーのための オフィスビル JPタワー名古屋の試み 本間 徹 <small>日本郵政</small>	●JFMA賞 優秀FM賞 FMによる健康経営の実現 -FHABを中心として- フジクラ 浅野 健一郎	社員が イキイキするための オフィスカイゼン活動の コツ 一色 俊秀 <small>コクヨ</small>
12:20-13:20 昼食休憩				
13:20 14:10 50分	健康経営 シンポジウム 近未来スタンダード 一立ち仕事のすすめ JFMA×JOIFA <small>日本オフィス家具協会</small> ×GBJ <small>グリーンビルディングジャパン</small> 似内 志朗・川島 実 <small>日本郵政</small> <small>ウォンエルフ</small> 齋藤 敦子 ・ 重綱 鉄哉 <small>コクヨ</small> <small>JOIFA</small> 高原 良 ・ 東川 麻子 <small>イトーキ</small> <small>産業医</small> 金 英範 <small>ファシリティマネジャー</small>	自組織の危機対応・ 事業継続対応力を 客観的に知ろう! 天野 明夫 大成建設 爰川 知宏 <small>NTTセキュアプラットフォーム研究所</small>	●JFMA賞 優秀FM賞 ICTを活用した "Smart&Safety"な FMの実践 NTTファシリティーズ 山田 崇	施設参謀(施設の 総合マネジャー)が 手掛ける 課題解決型FM 嘉門 隆史 <small>山下ビー・エム・コンサルタンツ</small>
14:20 15:10 50分	健康経営 シンポジウム 近未来スタンダード 一立ち仕事のすすめ JFMA×JOIFA <small>日本オフィス家具協会</small> ×GBJ <small>グリーンビルディングジャパン</small> 似内 志朗・川島 実 <small>日本郵政</small> <small>ウォンエルフ</small> 齋藤 敦子 ・ 重綱 鉄哉 <small>コクヨ</small> <small>JOIFA</small> 高原 良 ・ 東川 麻子 <small>イトーキ</small> <small>産業医</small> 金 英範 <small>ファシリティマネジャー</small>	ワーク・エンゲイジメントと 就業観から考察する ワーカーの多様性 山田 雄介 <small>同村製作所</small>	●JFMA賞 優秀FM賞 FMによる価値創造を 目指した研究開発棟 (SKT棟)の構築 コニカミノルタ 見宝 勉	「企業経営幹部の 意識改革が進む ファシリティマネジメント」 -IFMA白書- 田島 義資 <small>ジョーンズ ラングラサール</small>
15:10-15:50 インターミッション				
15:50 16:40 50分	イノベーション シンポジウム これからの イノベーション・ワーク プレイスを考える JFMA×オフィス学会 ジョイントシンポジウム 松岡 利昌 ・ 妹尾 大 <small>松岡総合研究所</small> <small>東京工業大学</small> 本江 正茂 ・ 似内 志朗 <small>東北大学</small> <small>日本郵政</small> 齋藤 敦子 <small>コクヨ</small>	アジア地方エリア 生活向上貢献 新規小規模企業を 支える社会的投資 小町 利夫 <small>アルン合同会社</small>	●JFMA賞 優秀FM賞 文化財として保存した 庁舎の活用と FMサイクルの浸透 愛媛県鬼北町 善家 直邦	「V-up×FM」日産の 課題解決プロセスを 日常FM業務へ展開 (事例紹介) 佐藤 好浩 ・ 金 英範 <small>日産自動車</small>
16:50 17:40 50分	イノベーション シンポジウム これからの イノベーション・ワーク プレイスを考える JFMA×オフィス学会 ジョイントシンポジウム 松岡 利昌 ・ 妹尾 大 <small>松岡総合研究所</small> <small>東京工業大学</small> 本江 正茂 ・ 似内 志朗 <small>東北大学</small> <small>日本郵政</small> 齋藤 敦子 <small>コクヨ</small>	保全業務の繁忙が 故障・不具合の平均 修復日数に与える影響 高草木 明 ・ 須藤 美音 <small>日本メックス</small> <small>名古屋工業大学</small>	●JFMA賞 技術賞 輻射空調による快適性と 省エネの両立ができる ワークプレイスの実現 トヨックス 岩田 博樹	FMの立場からの 建築プロジェクト マネジメント実践 山下 哲雄 <small>アサヒファシリティーズ</small>

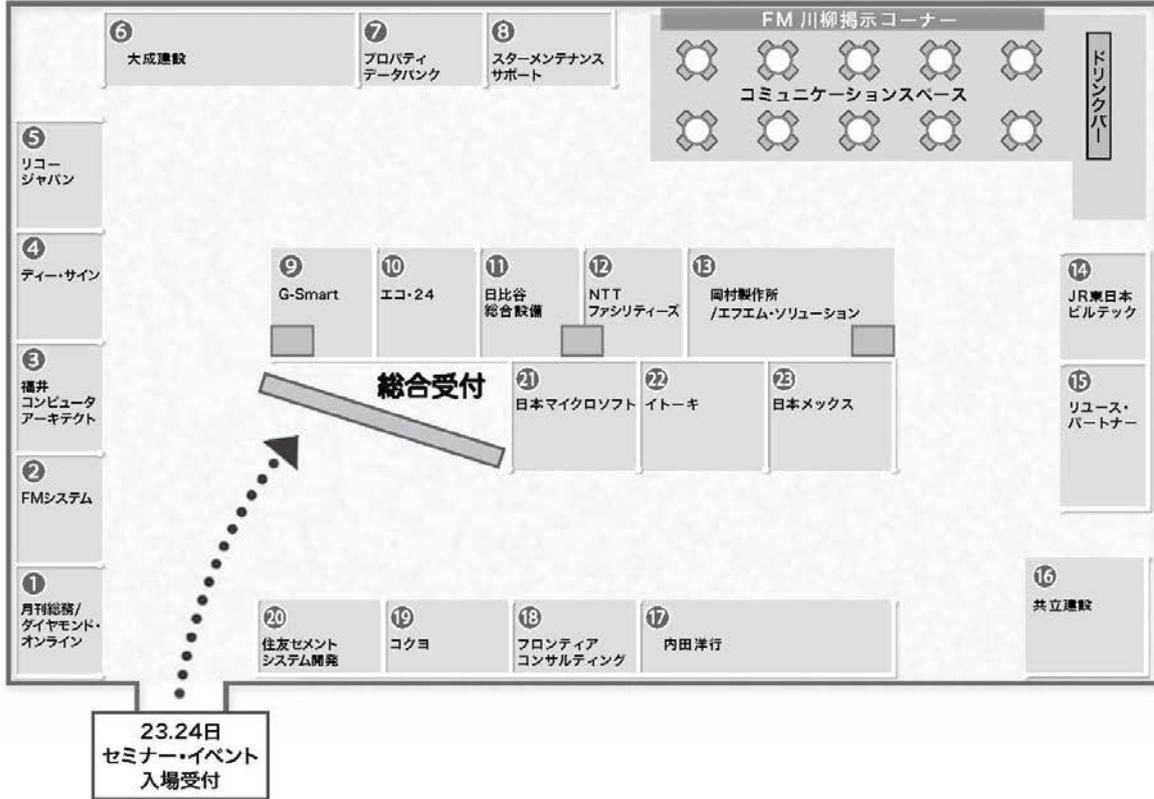


2F 福寿	2F 桃源	4F 研修室	4F 401	1F 展示ホール
BIM・ICT	戦略総務	FM調査研究	企業・団体プレゼンテーション	10:00 18:00
BIM・FM研究部会 FMでのBIM活用 ファシリティマネジャーの 役割 猪里 孝司 大成建設	●CBRE PRESENTS 戦略総務へ変革する ための5つの原則 クレイグ・カックス シービーアールイー	ユニバーサルデザイン研究部会 健康経営・健康建築 似内 志朗 日本郵政	●11:30 ~ 11:50 NTTファシリティーズ 吉田 光 NTTファシリティーズのFM-BFO サービス ●12:00 ~ 12:20 大成建設 高野 康幸 大成建設FM30年の取り組み	展示会 FM川柳 掲示 ドリンクバー
Information BIMと BIM-FM連携の 可能性 岩村 雅人・吉原 和正・ 圓谷 彩永子 日本設計	●CBRE PRESENTS ワークプレイス変革 のために現場で 出来る事 奥 錬太郎 シービーアールイー	FM財務評価手法研究部会 「FM財務評価 ハンドブック」の 改定内容について 松成 和夫 プロコード・コンサルティング	●13:20 ~ 13:40 日本メックス 野田 晋吾 資産価値向上に貢献するICTを 活用したビルメンテナンス ●13:50 ~ 14:10 ジャパンテクニカルソフトウェア 小野田 亮 FM-EXP紹介とモバイルの 基盤連携事例紹介 ●14:20 ~ 14:40 プロバティデータバンク 川島 剛 最新のICTを活用した ファシリティマネジメント ●14:50 ~ 15:10 山下ピー・エム・コンサルタンツ 松浦 裕 山TFPMCが実践する ストックマネジメント戦略	
施設維持管理データが もたらす、経営の見える化 柳 良和 住友セメントシステム開発	●CBRE PRESENTS ワークプレイスが 女子力を育む! そして戦略総務・FMに できることは何か? 〈第一部〉インハウス総務 女性の実践事例 〈第二部〉ワークプレイスと FMの専門家 井上 英夫 吉阪 幸代 いのうFMコンサルティング WFMフルリエゾン クレイグ・カックス シービーアールイー	FMプロジェクトマネジメント研究部会 オフィス日常管理の課題解決と スパイラルアップ実現の方法 吉井 隆 NTTファシリティーズ 岡田 大士郎 スクウェア・エニックス 他		
建物維持管理業務 における ICT活用 秋山 克己 日本メックス		エネルギー環境保全マネジメント研究部会 次世代の環境建築と 維持可能な社会の実現に 向けた取り組み状況 横山 健児 NTTファシリティーズ		
会議マネジメントに おける ビッグデータ分析の活用 田中 勇一 イトーキ	●CBRE PRESENTS テナントレップオフィス 交渉術、2018年オフィス 大型供給をチャンスに 高橋宏和フレッド シービーアールイー	コンピュータ活用研究部会 FMで利用する ICTシステム 天神 良久・森本 卓雄 ケーデシー アルファソシエイツ 他	●15:20 ~ 15:40 グリーンビルディングジャパン 本田 広明 LEED公認個人資格取得の勧め (AP/GA)	
汎用アプリケーションで 作る 「簡易CAD連携 什器管理データベース」 河野 明日路 アークエイド	●CBRE PRESENTS 総務プロとしての 交渉術 クレイグ・カックス シービーアールイー	FM戦略企画研究部会 地域経済自立化と 公共FM戦略-RESAS (地域経済分析システム)による検証 高藤 真澄・木村 稔 NTTファシリティーズ FMアシスト 他		



(7) 展示会

1F 展示会場ブース案内 (展示ホール)	2/23 (木)	9:40~10:00 オープニングセレモニー
	2/23 (木)	10:00~18:30
	2/24 (金)	10:00~18:00



展示会出展企業名

- | | | |
|---------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| ① 月刊総務/ダイヤモンド・オンライン | ⑨ (株)G-Smart | ⑰ (株)内田洋行 |
| ② (株)FMシステム | ⑩ (株)エコ・24 | ⑱ (株)フロンティアコンサルティング |
| ③ 福井コンピュータアーキテクト(株) | ⑪ 日比谷総合設備(株) | ⑲ コクヨ(株) |
| ④ (株)ディー・サイン | ⑫ (株)NTTファシリティーズ | ⑳ 住友セメントシステム開発(株) |
| ⑤ リコージャパン(株) | ⑬ (株)岡村製作所/
(株)エフエム・ソリューション | ㉑ 日本マイクロソフト(株) |
| ⑥ 大成建設(株) | ⑭ JR東日本ビルテック(株) | ㉒ (株)イトーキ |
| ⑦ プロパティデータバンク(株) | ⑮ リユース・パートナー(株) | ㉓ 日本メックス(株) |
| ⑧ (株)スターメンテナンスサポート | ⑯ 共立建設(株) | ドリンクバー提供
MARS ジャパンリミテッド |

おもてなし Sponsor



MARS ジャパンリミテッド

3. ウィークリーセミナー

FM最新話題に関するウィークリーセミナーを、見学セミナーも含めて下表のとおり開催した。受講者総数は288名。

場 所	J F M A 会議室 (ただし見学セミナーは現地)		
参加費用	会員 2,000 円 非会員 3,000 円		
1	テ ー マ	実力 5 大病院のベストプラクティスに学ぶ (続編)	
	開 催 日	平成 28 年 4 月 6 日	受 講 者 数 32 名
	講 師	帝京大学 和泉 隆	
2	テ ー マ	日本らしい FM を見出すための国際 FM 比較論の提言	
	開 催 日	平成 28 年 4 月 27 日	受 講 者 数 20 名
	講 師	(株) ファシリテイメント研究所 代表取締役 熊谷 比斗史	
3	テ ー マ	J F M A 賞を知る。J F M A 賞から学ぶ。	
	開 催 日	平成 28 年 5 月 11 日	受 講 者 数 19 名
	講 師	JFMA 専務理事 成田 一郎	
4	テ ー マ	FM データブック JAPAN2016 出版記念セミナー 第 1 回 FM データブック JAPAN2016 紹介 『FM データブック JAPAN2016 オフィス・ワークプレイス編』	
	開 催 日	平成 28 年 5 月 25 日	受 講 者 数 30 名
	講 師	日本郵政(株) 似内志朗、(株) ザイマックス不動産総合研究所 石崎真弓、 コクヨ(株) 斎藤敦子	
5	テ ー マ	FM データブック JAPAN2016 出版記念セミナー 第 2 回 FM データブック JAPAN2016 紹介 『FM データブック JAPAN2016 CRE (企業不動産) 編』	
	開 催 日	平成 28 年 6 月 1 日	受 講 者 数 15 名
	講 師	プロコード・コンサルティング 松成和夫、 プロパティデータバンク(株) 板谷敏正	
6	テ ー マ	第 10 回 JFMA 賞 優秀 FM 賞受賞 【見学会】 「イノベーションを生み出す新しいワークスタイルを目指して」 カルビー株式会社 における見学会	
	開 催 日	平成 28 年 6 月 7 日	受 講 者 数 23 名
	講 師		
7	テ ー マ	不動産証券化手法等による公的不動産 (PRE) の活用	
	開 催 日	平成 28 年 6 月 8 日	受 講 者 数 17 名
	講 師	国土交通省 土地・建設産業局 不動産市場整備課 不動産投資市場整備室 課長補佐 宮城栄司氏	
8	テ ー マ	第 10 回 JFMA 賞 技術賞受賞 「BIM を活用した施設維持管理システムの開発とその運用」	
	開 催 日	平成 28 年 6 月 22 日	受 講 者 数 17 名
	講 師	株式会社安井建築設計事務所 設計本部 ICT/BIM デザインセンター センター長 繁戸和幸 情報技術主任 幡宮祥平氏	
9	テ ー マ	第 10 回 JFMA 賞 奨励賞受賞 【見学会】 「東京オフィス移転に係る戦略的 FM の実践」 ソシエテジェネラル証券株式会社 における見学会	
	開 催 日	平成 28 年 7 月 1 日	受 講 者 数 16 名
	講 師		
10	テ ー マ	企業間取引文書のペーパーレス化で次世代オフィスの実現	
	開 催 日	平成 28 年 7 月 13 日	受 講 者 数 18 名
	講 師	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) 企画室室長 大泰司 章 一般社団法人 エコマート 運営委員会 齋藤 文彦	

11	テ ー マ	社内活性化、業務効率改善モチベーションアップを実現するオフィスサイネージ		
	開 催 日	平成 28 年 8 月 3 日	受 講 者 数	23 名
	講 師	ビーディーシー (株)		

《 ※平成 28 年 9 月～12 月の期間は「JFMA FM 秋の夜学校」と共催 》

12	テ ー マ	2017 年賃貸オフィスマーケット市場の動向と展望		
	開 催 日	平成 29 年 1 月 11 日	受 講 者 数	26 名
	講 師	(株)オフィスビルディング研究所 本田 広昭 三幸エステート(株) 今関 豊和 氏		
13	テ ー マ	「障害者差別解消法施行 1 年 企業が対処すべきこと」 「UDレビューでアクセシビリティ・ユーザビリティを改善する」		
	開 催 日	平成 29 年 3 月 8 日	受 講 者 数	15 名
	講 師	(株)バリアフリーカンパニー 代表取締役 中澤 信 JFMA ユニバーサルデザイン研究部会/日本郵政(株) 似内 志朗		
14	テ ー マ	「伝統的施設管理から戦略的施設管理へ」 －実施可能な公共施設マネジメント計画－		
	開 催 日	平成 29 年 3 月 22 日	受 講 者 数	17 名
	講 師	エフエムエンジニアリング株式会社 FM 研究会 角田善三郎、内海仁		

4. 専門分野特別セミナー

「JFMA FM 秋の夜学校」

JFMAの16調査研究部会の研究成果を、テーマ別に「JFMA FM 秋の夜学校」とする公開セミナーを下表のとおり開催した。受講者総数は228名。

場 所	JFMA会議室			
参 加 費 用	会員 2,000 円 非会員 3,000 円			
1	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】第 1 回 企業のBCP入門		
	開 催 日	平成 28 年 9 月 7 日	受 講 者 数	21 名
	部 会 名	リスクマネジメント研究部会		
	講 師	リスクマネジメント研究部会 部会長 上倉 秀之 (株式会社セノン)		
2	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】第 3 回 (※第 2 回は中止) 「ハコモノからインフラまでいかにマネジメントするか」 ～ISO5500を導入して～		
	開 催 日	平成 28 年 10 月 5 日	受 講 者 数	12 名
	部 会 名	インフラマネジメント研究部会		
	講 師	インフラマネジメント研究部会 部会長 中川 均 (株式会社ガイアート)		
3	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】第 4 回 「日常FMからオフィス改革プロジェクト起案」 パネルディスカッション形式		
	開 催 日	平成 28 年 10 月 12 日	受 講 者 数	28 名
	部 会 名	FMプロジェクトマネジメント研究部会		
	講 師	岡田 大士郎(スクウェア・エニックス)、岩橋 那々子(フィデリティ証券)、 長坂 将光(グラクソスミスクライン)、黒田 綾子(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)、吉井 隆(NTTファシリティーズ)		

4	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 5 回 「ゼロから始める FM」	
	開 催 日	平成 28 年 10 月 19 日	受 講 者 数 13 名
	講 師	JFMA 専務理事 成田 一郎	
5	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 6 回 「病院にこそ必要な FM。」 ～まずその第一歩は～	
	開 催 日	平成 28 年 10 月 26 日	受 講 者 数 20 名
	部 会 名	ヘルスケア FM 研究部会	
講 師	ヘルスケア FM 研究部会 副部会長 安藤 繁 (帝京大学)		
6	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 7 回 「FM へのコンピュータ活用の現状と未来」 ～現状の施設を把握するところから FM は始まる～	
	開 催 日	平成 28 年 11 月 2 日	受 講 者 数 20 名
	部 会 名	コンピュータ活用研究部会、BIM・FM 研究部会	
講 師	コンピュータ活用研究部会 部会長 天神 良久 (株式会社ケー・デー・シー) BIM・FM 研究部会 部会長 猪里 孝司 (大成建設株式会社)		
7	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 8 回 「企業不動産をいかにマネジメントするか」 ～個からトータルのマネジメントへ～	
	開 催 日	平成 28 年 11 月 9 日	受 講 者 数 14 名
	部 会 名	CRE マネジメント研究部会	
講 師	CRE マネジメント研究部会 部会長 大野 晃敬 (東京オペラシティビル株式会社)		
8	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 9 回 「財務と品質のバランスをいかにとるか」	
	開 催 日	平成 28 年 11 月 16 日	受 講 者 数 9 名
	部 会 名	FM 財務評価手法研究部会、品質評価手法研究部会	
講 師	FM 財務評価手法研究部会 部会長 松成 和夫 (プロコード・コンサルティング) 品質評価手法研究部会 部会長 野瀬 かおり 氏 (ファシリティマネジメント総合研究所)		
9	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 10 回	
	開 催 日	平成 28 年 11 月 30 日	受 講 者 数 17 名
	部 会 名	FM 戦略企画研究部会	
講 師	FM 戦略企画研究部会 部会長 高藤 眞澄 (株式会社 NTT ファシリティーズ FM アシスト)		
10	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 11 回 「BEMS の基本とビルの省エネルギーのためのデータ分析」	
	開 催 日	平成 28 年 12 月 7 日	受 講 者 数 22 名
	部 会 名	エネルギー環境保全マネジメント研究部会	
講 師	エネルギー環境保全マネジメント研究部会 渡邊 剛 (株式会社 NTT ファシリティーズ)		
12	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 12 回 「ファシリティマネジャーのための運営維持入門」	
	開 催 日	平成 28 年 12 月 14 日	受 講 者 数 20 名
	部 会 名	運営維持手法研究部会	
講 師	運営維持手法研究部会 部会長 吉瀬 茂 (JP ビルマネジメント株式会社)		
13	テ ー マ	【 FM 秋の夜学校 2016 】 第 13 回 「働き方改革の視点でオフィスを再構築する」	
	開 催 日	平成 28 年 12 月 14 日	受 講 者 数 32 名
	部 会 名	オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会	
講 師	オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会 部会長 齋藤 敦子 氏 (コクヨ株式会社)		

5. ファシリティマネジメント上級セミナー

ファシリティマネジメントの専門分野について、『経営的視点から見る環境・イノベーション』というテーマで、上級者向けのセミナーを行った。企業、大学、官庁等で専門分野の最先端で活躍する方々を講師陣とし、今期は11月に3日間で開催した。受講者総数は43名。

「2016年 FM 上級セミナー/認定ファシリティマネジャー（CFMJ）CPD 研修」

場 所	JFMA 会議室		
受 講 料	会員 30,000 円 非会員 45,000 円（6 講義全日受講）		
開 催 日	平成 28 年 11 月 11 日	受 講 者 数	16 名
1	テ ー マ	イノベーションを創出・加速支援するワークプレイス	
	講 師	コクヨ株式会社 ファニチャー事業本部 事業戦略本部 WORKSIGHT LAB 主幹研究員 齋藤 敦子	
2	テ ー マ	イノベーションを起こす FM の役割 - ウェルビーイングと ABW -	
	講 師	日本オフィス学会会長 株式会社松岡総合研究所代表取締役 松岡 利昌	
開 催 日	平成 28 年 11 月 24 日	受 講 者 数	15 名
3	テ ー マ	健康経営から見る新たな産業と民間との協働	
	講 師	経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 係長 高田 真利絵	
4	テ ー マ	健康経営への挑戦 - フジクラの実践を通して -	
	講 師	株式会社フジクラ 人事・総務部健康経営推進室 副室長 浅野 健一郎	
開 催 日	平成 28 年 11 月 25 日	受 講 者 数	12 名
5	テ ー マ	米国の環境評価システム「LEED」の現状と経営	
	講 師	一般社団法人グリーンビルディングジャパン LEED 連絡協議会 代表理事 浦島 茂	
6	テ ー マ	建築環境総合性能評価システム「CASBEE」の現状と今後	
	講 師	千葉大学大学院工学研究科 建築・都市科学専攻 准教授 林立也	

6. 公共向け FM セミナー

「インフラマネジメント研究部会」の研究活動として、インフラに対する包括維持管理を議題の中心とするセミナーを今期は3回開催した。受講者数は290名。

「長岡インフラマネジメント・シンポジウム」

～包括維持管理を促進する地域プラットフォームの形成と人材育成～

場 所	長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡市民高級ホールA		
受 講 料	会員 3,000 円 非会員 5,000 円		
開 催 日	平成 28 年 6 月 29 日	受 講 者 数	110 名
1	趣 旨 説 明	インフラマネジメント研究部会の概要と活動方針	
	講 師	中川 均（JFMA インフラマネジメント研究部会長）	
2	テ ー マ	インフラのメンテナンスをめぐる最近の状況 「インフラメンテナンス国民会議について」	
	講 師	佐藤 寿延（国土交通総合政策局 事業総括調整官）	

3	テ ー マ	インフラのメンテナンスエキスパート（ME）新潟の取組と課題
	講 師	丸山 久一（長岡技術科学大学 名誉教授）
4	テ ー マ	包括維持管理契約の先進事例 ①三条市における維持管理包括的外部委託に向けた取組み ②中山間地区における包括的維持管理 ③戦略的な維持管理体制への進化
	講 師	①笹岡 和幸（三条市建設部建設課課長） ②吉田 伸明（福島県県南建設事務所主幹兼企画管理部長） ③中野 勇（新潟市土木部土木総務課副参事）
5	テ ー マ	マネジメントから見たインフラ維持管理
	講 師	水野 孝志（八千代エンジニアリング株式会社 常務取締役）
6	テ ー マ	パネルディスカッション 「地域のプラットフォームを活用し、地域の担い手を育成するには」
	講 師	コーディネーター：鈴木泉（社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会） パネリスト：佐藤寿延、丸山久一、笹岡和幸、吉田伸明（演者敬称略） 高橋修（長岡技術科学大学教授）、荒木克（ME新潟の会会長）

「石川インフラマネジメント・セミナー」

～先進事例に見る、包括維持管理のベストソリューションのかたちとは～

場 所	石川県地場産業振興センター		
受 講 料	非会員 1,000 円（JFMA 会員無料）		
開 催 日	平成 28 年 9 月 6 日	受 講 者 数	30 名
1	趣 旨 説 明	インフラマネジメント研究部会の概要と活動方針	
	講 師	中川 均（JFMA インフラマネジメント研究部会長）	
2	テ ー マ	地方自治体が抱えるインフラマネジメント上の課題 （実績に見る投下可能な維持管理費の現状、担い手不足等）	
	講 師	水野 高志（JFMA インフラマネジメント研究部会顧問） （八千代エンジニアリング株式会社常務取締役）	
3	テ ー マ	石川県における公共施設等総合管理計画の現状	
	講 師	佐野 弘太郎（JFMA インフラマネジメント研究部会員） （株式会社計画情報研究所 主任企画院）	
4	テ ー マ	意見交換会 「地域のニーズにマッチする、ベストソリューションは包括委託のかたちとは」	
	講 師	司会進行 鈴木泉（社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会副理事長）	

「三方よしのインフラメンテナンスin福島」

～「住民よし」「企業よし」「行政よし」の視点から新たなメンテナンス展開～

場 所	ウェディング エルティ（福島市）		
受 講 料	1,000 円		
開 催 日	平成 29 年 3 月 7 日	受 講 者 数	150 名
1	テ ー マ	インフラメンテナンス国民会議が目指すもの～インフラメンテナンス革命～	
	講 師	藤井 政人（国土交通総合政策局公共事業企画調整事業総括調整官）	
2	テ ー マ	過疎地における地域建設業協同組合の包括維持管理（宮下方式の展開）	
	講 師	木村 豪（福島県土木部道路管理課主査）	
3	テ ー マ	一部移管後の国道 4 号および県道の包括維持管理の試行と経過	
	講 師	小野田 慎（福島県県中建設事務所企画管理部管理課主任主査）	
4	テ ー マ	民間企業による新たな発想の有料道路の管理・運営	

	講 師	渡邊 大介 (株式会社ガイアート 道路維持戦略室)
5	テ ー マ	未来のメンテナンスのための新設工事
	講 師	森崎 英五郎 (寿建設株式会社)
6	テ ー マ	住民の協同による道づくり&橋守プロジェクト
	講 師	岩城 一郎 (日本大学工学部土木工学科教授)
6	テ ー マ	パネルディスカッション 住民よし」「企業よし」「行政よし」の視点から新たなメンテナンスの展開
	講 師	コーディネーター：鈴木泉 (社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会) パネラー：藤井政人、加藤木玲 (行政) 岩城一郎 (大学) 森川英五郎、中川均 (企業) 菊池日出子 (市民代表・トライアスリート) ※敬称略

7. JFMA FMサマースクール 2016

FM・総務サービスを、組織内で実践する上で必要な基本エッセンス (基本ビジネス能力、ホスピタリティ能力、FM専門知識) を集中して学ぶ「JFMA FMサマースクール 2016」を、計6日間開催し、延べ112名が受講した。

名 称	JAFMA FM サマースクール 2016	
1 日 目	平成 28 年 8 月 26 日 10:30~17:30	
講 師 と 内 容	1 時限 ホスピタリティ解体新書 2 時限 ホスピタリティ能力自己診断 3 時限 ユーザーの声を聞く・聴く・訊く	佐藤 昌弘 (株)JTB コーポレートソリューションズ
	4 時限 ファシリティの視点からのホスピタリティ ホスピタリティ事例紹介	佐藤 昌弘 (株)JTB コーポレートソリューションズ 成田 一郎 JFMA 専務理事
2 日 目	平成 28 年 8 月 27 日 10:30~17:30	
講 師 と 内 容	1 時限 経営戦略、マーケティング 2 時限 人材マネジメント 3 時限 オペレーションマネジメント、管理会計 4 時限 統計学	飯尾 英樹 IIMO 代表
3 日 目	平成 28 年 9 月 2 日 10:30~17:30	
講 師 と 内 容	1 時限 企業人としての影響力 2 時限 ビジネスに必要な「感性」 コミュニケーション-1 3 時限 ビジネスに必要な「感性」 コミュニケーション-2	飯尾 英樹 IIMO 代表
	4 時限 FM と MBA	川村 裕 ジョンズラングラサル
4 日 目	平成 28 年 9 月 3 日 10:30~17:30	
講 師 と 内 容	1 時限 社会動向から見る経営と FM	松岡 利昌 松岡総合研究所代表
	2 時限 ビジネスを支える FM	松成 和夫 プロコードコンサルティング代表

	3 時限 FM の業務・体系	成田 一郎 JFMA 専務理事
	4 時限 FM の視点と手法	似内 志郎 日本郵政(株)不動産企画部長
5 日 目	平成 28 年 9 月 9 日 10 : 30 ~ 17 : 30	
講師と内容	1 時限 FM CRE 戦略	板谷 敏正 プロパティデータバンク(株)代表取締役
	2 時限 FM 財務戦略	松成 和夫 プロコードコンサルティング代表
	3 時限 FM ワークプレイス戦略*	大川 徹 (株)竹中工務店ワークプレイスプロデュース 本部長
	4 時限 POE とフリーフィンク (プログラミング)	成田 一郎 日本ファシリティマネジメント協会
6 日 目	平成 28 年 9 月 10 日 10 : 30 ~ 17 : 30	
講師と内容	1 時限 ファシリティのデータ収集と CAFM	(株)みずほ銀行 ファシリティマネジメント部参事
	2 時限 プロジェクトマネジメント	金 英範 日産自動車(株)コーポレートサービス統括部 主管 山田 教彰 ソニーコーポレートサービス(株)担当部長
	3 時限 SLA/KPI とアウトソーシング	川村 裕 ジョンソンラングラーサル
	4 時限 ファシリティマネジャーの心構え	大森 崇文 インテル(株) アジア・プログラム・マネジャー
受講料	会員 60,000 円 非会員 70,000 円 学生 20,000 円	
場 所	JFMA 会議室	
受講者延数	112 名	

8. 通信教育

時間的、距離的な制約によりセミナーに参加できない方々を対象に、ファシリティマネジメントの基礎知識を習得できる通信教育を下記のとおり実施した。

- (1) 講座名 通信教育「ファシリティマネジメント基礎」コース
- (2) テキスト 「総解説ファシリティマネジメント」および「総解説ファシリティマネジメント追補版」
- (3) 学習方法 あらかじめ作成したファシリティマネジメントに関する問題に答えることにより学習をすすめる。受講者は、JFMAに質問することがきる。
- (4) 受講者募集 随時
- (5) 受講料 34,616 円 (テキスト配布) 27,216 円 (テキスト配布なし)
- (6) 受講者数 31 名

付 4 . 表彰事業

付4 表彰事業

ファシリティマネジメントに関する優れた業績及び功績のあった組織と個人を年1回表彰する。この表彰の制度を日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）と呼ぶ。

2006年(平成18年)に創設以来、2016年までに11回実施し、すでに143件を表彰している。候補案件の募集は公募を原則とし、産官学から招いた有識者10名を審査委員とする審査委員会において、授賞を審議する。

1) 表彰の種類

a. 優秀ファシリティマネジメント賞（公募）

ファシリティマネジメント手法を取入れ、優れた成果を上げている活動を表彰する。このうち特に優れた活動を「最優秀賞（鶴澤賞）」とする。該当なしの場合もある。

総合的かつ継続的にファシリティマネジメントが定着し経営に貢献しているか、コアビジネスへの貢献はあるか、ファシリティの利用者への貢献はあるか、ファシリティマネジメントの推進体制（組織、財務管理、情報管理、標準と規程管理等）を整備したか、ファシリティマネジメントサイクル（PDCA）を回しているか、時代のニーズに対応しているか、新規性・独創性があるかの視点で審査。

b. 技術賞（公募）

ファシリティマネジメントに関する、新しい手法・技術の取組みを表彰する。

ファシリティマネジメントの手法・技術の開発・普及に貢献するものか、新規性・独創性はあるかの視点で審査。

c. 功績賞（公募）

ファシリティマネジメントに関する優れた論文（博士論文及び同等以上の論文）、出版、その他の活動を表彰する。

ファシリティマネジメントの推進、普及に貢献するものかの視点で審査。

d. 特別賞（非公募）

優秀ファシリティマネジメント賞・技術賞・功績賞の応募の中から、ファシリティマネジメントの特定分野において優れた成果を上げ、特別に表彰すべきと認められる取組みを表彰する。

e. 特別功労賞（非公募）

ファシリティマネジメントの普及・拡大等に顕著な功績があった個人及び組織を表彰する。

f. 奨励賞（非公募）

優秀ファシリティマネジメント賞、技術賞、功績賞の応募の中から、今後の発展が期待されるものを表彰する。

2) 概 要

目	的	FMに関する優れた業績及び功績のあった組織と個人を表彰することにより、日本国内におけるFMの普及発展に資する。	
対	象	目的（日本国内におけるFMの普及・発展に資する）に合致した、日本に拠点を置く組織・個人とする。 ただし、海外の取組み・活動であっても、特段に、日本国内におけるFMの普及・発展に貢献したと認められる場合は、表彰の対象とすることができる。	
表 彰 の 種 類 (公募)	優 秀 FM 賞	FM手法を取入れ、優れた成果を上げている活動を表彰する。 このうち特に優れた事例を「最優秀賞(鵜澤賞)」とする。	
	技 術 賞	FMに関する、新しい手法・技術の取組みを表彰する。	
	功 績 賞	FMに関する優れた論文、出版、その他の活動を表彰する。	
募 集 期 間	平成 28 年 7 月 1 日～8 月 31 日		
応 募 者 数	優秀 FM 賞:14 件, 技術賞:2 件, 功績賞:2 件 計 18 件		
発 表	平成 28 年 12 月 20 日		
表 彰	平成 29 年 2 月 23 日 ファシリティマネジメントフォーラム 2017」にて		
後 援	経済産業省・国土交通省		
審 査 委 員	委 員 長	沖 塩 莊 一 郎	東京理科大学 名誉教授
	副 委 員 長	深 尾 精 一	首都大学東京 名誉教授
		川 元 茂	国土交通省大臣官房 官庁営繕部長
		北 川 正 恭	早稲田大学 名誉教授
		中 内 重 則	経済産業省商務情報政策局 日用品室長
		安 達 功	(株)日経 BP 執行役員 建設局長
		村 田 博 文	(株)財界研究所 代表取締役
		柳 澤 忠	名古屋大学・名古屋市立大学 名誉教授
		米 倉 誠 一 郎	一橋大学イノベーション研究センター 教授
	成 田 一 郎	(公社)日本ファシリティマネジメント協会 常務理事	

3) 受賞者

賞の種類	タイトル	FM 実践組織・個人	サービス提供者
最優秀FM賞 (鶴澤賞)	魅力ある街づくりをFMで(魅せるFM) ～文化財施設等の新しい価値の創造と次世代への継承～	青森県弘前市	・(株)前川建築設計事務所 ・(株)西村組 ・スターバックスコーヒージャパン(株) ・(株)まちづくり計画設計 ・アズビル(株)
優秀FM賞	FM による健康経営の実現 ～FHAB を中心として～	(株)フジクラ	・(株)トーキ ・(株)シマノ ・エルゴトロンジャパン(株) ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所
優秀FM賞	ICT を活用した"Smart & Safety" な FM の実践	(株)NTT ファシリテース [®]	
優秀FM賞	FM による価値創造を目指した研究開発棟(SKT 棟)の構築	コニカミノルタ(株)	・(株)竹中工務店
優秀FM賞	文化財として保存した庁舎の活用 と FM サイクルの浸透 ～鬼北町庁舎再生への取り組み～	愛媛県鬼北町	
特別賞	鉄道高架空間の有効活用による 地域活性化事例 AKI-OKA STREET	(株)ジェイアール東日本都市開発	・(株)交建設計 ・(株)コキト・エルゴ・ススム ・JR 東日本ビルテック(株)
技術賞	輻射空調による快適性と省エネ の両立ができるワークプレイスの 実現	(株)トヨックス	
奨励賞	自律と協働を促進し「個と組織を 生かす」ワークプレイスの構築	(株)リクルートマネジメントソリューションズ [®]	・(株)サ・テ・デザイン・スタジオ
奨励賞	メトロニック日本法人の本社統合 における戦略的 FM の実践	日本メトロニック(株)	
奨励賞	ファシリティ・マネジメントに基づく 建築生産プロセスの研究	古橋 秀夫 氏 宮原 俊介 氏	
奨励賞	地方自治体オフィスの改修計画に関する研究	安藤 亨 氏	

計 11 件

付 5. 調査研究事業

付5 調査研究事業

1. 調査研究部会活動

調査研究部会は次の3分野16部会である。

■平成28年度 調査研究部会活動報告

	名称	概要
1	(マネジメント研究分野) FM戦略・企画研究部会	<p>≪部会長 高藤真澄≫</p> <p>■メインテーマ 転換期の都市・地域のレジリエンス&サステナビリティの向上 —今後の公共FM戦略の方向性</p> <p>■活動内容</p> <p>【研究目標】 日本は東京などの大都市圏を除くほとんどの都市・地域は人口減少をはじめ様々な状況の転換期にあり、この時期をポジティブに好機と捉えて、新たな価値創出を目指したマネジメントをすべきである。新たな価値創出を明らかにし、その為の都市・地域経営に関わる「公共FM戦略の方向性」を整理する。</p> <p>【研究視点】 都市・地域経営におけるFM戦略としての「財務・品質・供給」目標および「World Risk Report 2013」を参考に、都市・地域を5つのサブシステム＝経済・環境・インフラ・ガバナンス・社会＋アメニティの6要素で捉えることとする。</p> <p>【部会研究会】 基本的に毎月1回の研究部会を開催して、意見交換・情報交換・講演会企画を実施するとともに、FORUMへの発表準備を実施した。</p> <p>【講演会の実施】 研究目標に関連するサブテーマを設定し、外部講師による下記の講演会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/21 東京大学公共政策大学院客員教授 一般社団法人不動産証券化協会 専務理事 内藤伸浩氏 テーマ：人口減少時代の公共FM戦略（PREとまちづくり） ・7/25 大和リース(株) 流通建築リース事業部 関東地区事業部長 宮川 聖氏 テーマ：企業と地元NPOの協働【まちスポ】による地域課題解決の取組み ・8/2 NPO法人えがおつなげて 代表 曾根原久司氏 テーマ：日本の田舎は宝の山 ～農村資源活用と地域経済・社会の自立化～ ・8/31 日本レジリエンス協議会 事務局長 金谷年展氏 テーマ：レジリエンス時代のエネルギーとコミュニティ ・10/24 政策研究大学院大学 教授 井川 博氏 テーマ：今後の地方財政と地域活性化 <p>【FORUM】 テーマ「地域経済自立化と公共FM戦略：RESASによる検証」により、地域の持続可能性のための第一条件としての地域経済の自立化への取り組み事例と検証結果を発表した。</p>

2	<p>(マネジメント研究分野)</p> <p>FMプロジェクト マネジメント研究部会</p>	<p>《部会長 吉井 隆》</p> <p>■メインテーマ 企業オフィスの日常管理における、「定常的な課題解決」と「次の改善整備」に向けた知見を集積し、企業のFM向上に寄与することを目的に、インハウス FMer と外部 PM サービス提供者 (50:50)の幅広い見地を成果としてまとめ養成普及に努める</p> <p>■具体的活動実績 下記の通り事例を通し調査研究の体系化と夜学校・フォーラム講演での養成普及を行った</p> <p>4月15日 研究部会：於 JFMA 「今年度調査研究年間テーマディスカッション」</p> <p>5月9日 研究部会：於 (株)ジャパンタイムズ 「創業120年記念オフィス改革の取り組み」</p> <p>6月10日 研究部会：於 フィデリティ証券(株)(移転前) 「日常FMとオフィス移転に向けた取り組み」</p> <p>7月12日 研究部会：於 (株)内田洋行 「未来志向でワーカーのHappinessを考える」</p> <p>9月13日 研究部会：於 JFMA 「夜学校講義内容検討(1)」</p> <p>10月4日 研究部会：於 JFMA 「夜学講義内容校検討(2)」</p> <p>10月12日 秋の夜学校：於 JFMA 「日常FMからオフィス改革プロジェクト起案」</p> <p>11月8日 研究部会：於 フィデリティ証券(株)(移転後) 「オフィス移転での取り組みと気づき」</p> <p>12月8日 研究部会：於 ヒューリック(株) 「フォーラム講演検討」</p> <p>2月24日 FMフォーラム講演：於 タワーホール船堀 「オフィス日常管理の課題解決とスパイラルアップ実現の方法」</p> <p>3月10日 研究部会：於 JFMA 「次年度調査研究年間テーマディスカッション」</p>
---	--	---

3	<p>(マネジメント研究分野)</p> <p>リスクマネジメント 研究部会</p>	<p>《部会長 上倉秀之》</p> <p>■メインテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レジリエンス」に関する研究 ・「防災訓練モデルシナリオ」の検討 ・「帰宅困難者施設受け入れ」に関する検討 ・災害時の災害弱者対策の検討 <p>■活動報告</p> <p>毎月定例の意見交換会を実施し知見の共有等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レジリエンス」に関する研究 <p>研究部会として発行した地震等の災害時における事業継続に関する報告書について、最近の事例・知見を元に改訂を検討。資料の収集と改訂原稿の作成を実施中。(29年度に発行予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応訓練モデルシナリオ」の検討 <p>災害時等、緊急時の対応訓練におけるモデルシナリオの検討。H26 度・自衛消防隊訓練モデル、27 年・対策本部訓練モデルに続き H28 年度は自衛消防隊訓練（負傷者救出）モデルを検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「帰宅困難者施設受け入れ」に関する検討 <p>研究部会員企業による帰宅困難者受け入れ訓練等の情報収集・共有を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の災害弱者対策の検討 <p>研究部会員企業による災害弱者対策等の情報収集・共有を行った。</p>
---	---	--

4	<p>(マネジメント研究分野)</p> <p>エネルギー環境保全 マネジメント研究部会</p>	<p>《部会長 大島一夫》</p> <p>■メインテーマ</p> <p>2030年の望ましい電源構成（エネルギーミックス）や温暖化ガス排出削減目標が発表される等、エネルギー分野で大きな変革が起きようとしている。当部会では、これら大変革を踏まえたファシリティ・マネジメントのあり方等についての調査・研究を行う。</p> <p>■活動内容</p> <p>エネルギー分野における大きな変革と国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を踏まえて、「持続可能な社会に向けた取組み状況」と「次世代の環境建築」を調査研究対象とした。具体的な活動実績は以下の通りである。</p> <p>①②法規制・制度等の動向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> -東京都における「環境先進都市、資源循環・廃棄物処理」に関する取組み調査 -The Living Future Instituteにおける「次世代の環境建築」に関する取組み調査 <p>③先進的取組みを行っている事業者、施設等の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> -3M社（相模原事業所） -品川シーズンテラス -LIXIL（U2home、資料館） -スーパーエコタウン（ヒューチャー・エコゾー、タケエイ、東京臨海リサイクルパーク） <p>④ファシリティのエネルギー環境保全に影響を与える技術動向</p> <ul style="list-style-type: none"> -「スマートメータを活用した省エネルギーアドバイス自動生成ツール」に関する調査 <p>⑤⑥⑦意見収集、上記調査研究結果の発信、報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> -ファシリティマネジメントフォーラムで調査結果を報告すると共にアンケート調査を実施
---	---	---

5	<p>(マネジメント研究分野)</p> <p>CREマネジメント 研究部会</p>	<p>《部会長 大野晃敬》</p> <p>■メインテーマ 中長期的な視点に立脚して企業活動を支えるとともに、企業価値向上に貢献することを目的とした"企業不動産（CRE）マネジメント"に関する体系的な手法研究及び国内企業への普及・促進</p> <p>■活動内容</p> <p>①CREマネジメントに関する最新事例調査 CRE マネジメントに関する最新事例の調査研究。具体的な調査対象は以下を想定。併せて参加委員による討議や意見交換も促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外グローバル企業を含む国際動向調査 ・国内大手企業における最新事例調査 ・学術等研究機関における研究動向調査 ・国土交通省等関連省庁の最新施策調査 <p>②ハンドブックの公開による CRE マネジメントの普及・促進 27年度に編纂した CRE マネジメントハンドブックを広く公開、頒布することにより、JFMA 会員企業ならびに多くの国内企業に対して CRE マネジメントの有効性を PR する。</p> <p>③CRE マネジメントに関連する他の JFMA 研究部会との情報交換 オフィスの生産性、企業財務、環境、BIM、プロジェクト推進など CRE マネジメントと関連する他の研究部会における研究成果の収集活用と情報交換などを実施する。</p>
---	---	---

6	<p>(マネジメント研究分野)</p> <p>インフラマネジメント 研究部会</p>	<p>《部会長 中川 均》</p> <p>■メインテーマ 老朽化の進んだインフラに対し、官民連携を基本に包括維持管理によるインフラマネジメントの導入を目指し、地方自治体に対する調査、人材育成、及び ISO の活用等について調査研究を実施する。</p> <p>■活動内容</p> <p>①自治体向けにベストプラクティスを紹介するセミナーの開催 6月29日に「長岡インフラマネジメントシンポジウム」と題し、「地域のプラットフォームを活用し、地域の担い手を育成するには」というテーマのパネルディスカッションをメインとしたセミナーを開催。 この会で ME 新潟の会を地域の窓口として情報共有することが出来た。 9月6日には「石川インフラマネジメントセミナー」と題し、議会と行政担当者向けに包括維持の勉強会と意見交換を行った。 3月7日には「三方よしのインフラメンテナンス in 福島」と題し、産官学民が winwin となるための包括事例の紹介や、担い手として果たすべき役割について市民代表を交えて三方よしをキーワードにパネルディスカッションを行った。今後、日大郡山と福島建設業協会により福島 ME を立ち上げるにあたっての協力関係を確認した。 部会員の勉強会として、首都高技術の高木千太郎上席研究員によるインフラマネジメントの育成と技術継承についての講演や、榎御祓川の森山奈美氏によるまち作り出前講座ワークショップを行っている。</p> <p>②インフラマネージャーの育成に関する研究 インフラマネージャーの位置付け、要求スキル、定義づけ等について議論するため専門の分科会を作り、各方面にアドバイスを求めながら引き続き研究を継続する。</p> <p>③自治体への ISO55001AMS の活用 上下水道以外で、AMS の運用事例が少ないため特筆すべきことは無かったが、部会内でもパスコさんが取得するなど広がりを見せていることから、自治体への導入検討を進めていく。</p>
---	--	---

<p>7</p>	<p>(施設事例研究分野)</p> <p>キャンパスFM研究部会</p>	<p>《部会長 藤村達雄》</p> <p>■メインテーマ</p> <p>大学経営をFMの視点から支援するために、次項を行う。</p> <p>○啓発普及：大学の経営陣並びに、施設及び財務の職員が、キャンパスFMを意識し、その必要性を認識させる。</p> <p>○研究開発：キャンパスFMを実施する際に必要となる概念・手法等を確立させる。</p> <p>○支援活動：施設に係る業務の変革や、キャンパスFMの創造を目指す大学等を支援する。</p> <p>■活動内容</p> <p>○ ベンチマーキング分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの実績 () がテーマ <ul style="list-style-type: none"> 上智大学 (日本学生支援機構から祖師谷国際交流会館の購入) 帝京大学 (板橋キャンパスにおけるトップレベル事業所認定に向けた取組) ・これまでの10事例を5つのテーマに分けた分析の開始 <ul style="list-style-type: none"> テーマA (都心型、都心回帰)：芝浦工大 (田町)、東京電気大 (北千住)、実践女子大の3校 テーマB (図書館、ラーニングコモンズ)：千葉大 (西千葉)、明治大 (和泉) の2校 テーマC (エネルギー、環境保全活動)：東大 (駒場)、東工大 (大岡山)、東大 (本郷) の3校 テーマD (国際学生寮、教育寮)：早稲田大 (中野)、ICU の2校 ・インタビューの準備 () がテーマ <ul style="list-style-type: none"> 明治学院大学 (横浜キャンパスの学修空間の改善) <p>○ 保全業務分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの実績 () がテーマ <ul style="list-style-type: none"> 早稲田大学 (株式会社早稲田大学プロパティマネジメントの業務内容) ・インタビューの準備 () がテーマ <ul style="list-style-type: none"> 共立女子大学 (全額出資会社ウィズ・ケイにおける保全業務)
----------	--------------------------------------	---

8	<p>(施設事例研究分野)</p> <p>ヘルスケアFM研究 部会</p>	<p>《部会長 上坂 脩》</p> <p>■メインテーマ 健康・医療・福祉に関わる施設経営戦略を包括的に扱うHCFMの導入・普及</p> <p>■活動計画と成果 「内なるFM、外へのFM」の充実－病院との連携を拡大して病院経営層へ成果を還元</p> <p>1. ヒトとICTとファシリティ 5月 「FM視点からのリニューアル計画」病院設備329号(上坂)医療福祉設備協会・医業経営コンサルタント協会・医療福祉建築協会等と相互連携を充実させ、病院管理学会等との本流連携を目指す。</p> <p>2. パワーアップ 2月 沖縄県病院事業局病院経営改革会議「県立病院FM導入」(上坂) 10月 日本医療福祉設備学会「病院の省エネ」(関澤 充) 10月 日本医療福祉設備学会「病棟改修に伴う感染症病床における空調管理システムの構築」(西村忠則) 11月 国立大学法人等施設系職員研修会「附属病院の施設面のBCP」(上坂)</p> <p>現在部会員33名(継続31名、新規部会員+6名、退会-4名) 部会の病院オブザーバー交流による病院院関連団体との支援リングを充実して、病院インハウスメンバーの部会参加を拡大(ナース、認定ホスピタルホスピタルエンジニア、臨床工学士、等々)</p> <p>3. バリュアップ 2月 FORUM「部会講演・一般講演」(上坂、安藤、田中・加藤、和泉)</p> <p>共通研究テーマ「医療機能評価・JCI評価のFM寄与度指標」(青野) 「病院FM先進事例紹介」「病院ファシリティマネージャに必要な資質」研究をコアに、「病院BCP」、「病院FMBM策定」、「病院LCMモデル」、「ヘルスケアFM'er資質」、「ホスピタリティFM」「ヘルスケアリート」の6ワーキングGが連携して活動を展開</p> <p>4. レベルアップ 9月 第1回部会セミナー「労働と看護の質向上のためのデータベース」(日本看護協会 岩澤由子 看護情報課長) 10月 第2回部会セミナー「感染管理とファシリティマネジメント」 (日本医療福祉設備協会 郡明宏 理事)</p> <p>固有人脈を活用した関連学会・団体・組織との相互講演等により付加価値を向上して、部会公開セミナーによるヘルスケアFMの普及を図り、研究領域の深耕と共に公共FMへの病院支援モデルを実地試行</p>
---	---	---

<p style="text-align: center;">9</p>	<p style="text-align: center;">(施設事例研究分野)</p> <p style="text-align: center;">公共施設FM研究部会</p>	<p>《部会長 安蕪秀徳》</p> <p>■メインテーマ パブリック FM の普及推進と安心・安全の社会に向けた公有資産の品質向上への取り組み調査・研究</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パブリック FM に関する情報として HP の公共インフォメーションを通じた情報の受発信を実施 2. 公共施設 FM 研究部会での講演会の実施 主な開催テーマ（講演所属団体） <ul style="list-style-type: none"> ● 3.11 を経験に未来に伝えたい南三陸町「知る」から「できる」備え防災（一般法人南三陸町観光協会・大平ビルサービス） ● 千葉市における資産経営の事例（千葉市資産経営課） ● 小平市における公共施設マネジメント事例（小平市企画政策部） ● 前橋市における FM（前橋市財務部） ● 次代につながる創造する弘前市の魅せる FM（弘前市財務部） ● 青森県庁舎耐震・長寿命化改修工事（青森県総務部） その他講演の実施と共に各講演方式により各自治体、民間企業含めた意見交換の実施 3. インフラマネジメント研究部会及び FM 戦略企画研究部会との部会交流の実施 4. 各自治体からのパブリック FM・公共施設等総合管理計画に関する内容の調査、確認等 5. 今後の公共施設 FM 研究部会での活動に関し検討 〔 過去 3 年間の公共施設 FM 研究部会での講演内容の整理、分析等を行い、今後の検討材料とする 〕
--------------------------------------	---	---

10	<p>(施設事例研究分野)</p> <p>ユニバーサルデザイン研究部会</p>	<p>《部会長 似内志朗》</p> <p>■メインテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークプレイス（オフィス）のユニバーサルデザイン研究 <p>■サブテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティに関する調査・研究 (ワークプレイスにおける人材多様性に関する情報収集、とりまとめ、調査・研究等の継続) ・健康経営に関する調査・研究 (新しい潮流である健康経営の流れ、WBSの研究) <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JLLアカデミー「これからのワークプレイスの構造（UD視点から）」 似内志朗他、4/7似内@六本木（依頼参加） ・日本オフィス学会・JFMA（UD研究部会他） 健康経営についてのディスカッション／似内志朗他 6/14 ・フジクラ浅野健一郎氏（健康経営先進企業）オフィス見学会 セミナー「フジクラにおける健康経営」参加者多数、7/12@江東区 ・森山政与志氏講演「左半身不随の一級建築士65歳、新しいスタートを切る」8/8@三水会（依頼講演） ・コクヨ シニアワークスタイルコンサルタント坂本崇博氏 「健康経営実現に向けたファシリティ整備の鍵」10/31@JFMA ・FMフォーラムにおける発表「健康経営・健康建築」似内志朗 2/24@江戸川区 ・FMフォーラムにおけるシンポジウム（TFと協働） 「健康経営とは何か～立ち仕事のススメ」（似内）2/24@江戸川区 ・ウィークリーセミナー（FM秋の夜学校（延期分））3/8@JFMA 「障害者差別解消法施行1年を迎えて」中澤信氏 「UDレビューという手法」似内志朗
11	<p>(固有技術研究分野)</p> <p>運営維持手法研究部会</p>	<p>《部会長 吉瀬 茂》</p> <p>■メインテーマ</p> <p>～『納得感のもてる最良の運営維持』を目指して～ ユーザーの視点に立ったファシリティ運営維持業務とその評価に関するあり方を探る</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ファシリティを良好に運用・管理するためのコミュニケーションツール「利用者満足度からのファシリティの評価とその対応」「運営維持業務における業務品質の考え方とその評価」の理念を基に「誰にでもできる身近な省エネ～取組へのヒント～」をテーマとして、資料収集と共にWGを設置して5回の会合を開催し研究活動を行った。 また、その活動成果としてファシリティマネジメントフォーラムで、「～運営維持の視点で『きっかけづくり』～実務者が語る身近な省エネルギーの話」その2と題して取組成果の紹介を行った。 ②「身近な省エネの手法（考え方）と評価」を検討及び事例収集中。 ③テーマに関連する分野の専門家等を部会へ招聘し、セミナーを5回、見学会を2回開催し意見交換を行った。

12	<p>(固有技術研究分野)</p> <p>品質評価手法研究部会</p>	<p>《部会長 野瀬かおり》</p> <p>■メインテーマ 昨年に引き続き、メインテーマは「サステイナブル - 環境および BCP-」とする。昨年に続いて事例や基本情報を収集するとともに、これまでに集めた情報を整理し、報告書を作成する。</p> <p>■活動内容 平成28年度は新たに3名の新部会員を迎え、月に一回の割合で計12回の部会を開催すると同時に、部会員有志により現地調査を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サステイナブルなワークプレイスについて議論を深め、危機管理軸とステークホルダー軸を立てた「サステイナブルバランス図」としてまとめた。 2. 環境の観点として、建物への木材利用の意義や動向、留意点などについて、ファシリティマネジャーが認識しておくべき事項を調べ、まとめた。事例として、木造庁舎を取り上げ、岩手県住田町庁舎と山梨県早川町庁舎の2件について、部会員が現地調査した。 3. BCP の観点として、ワークプレイスで誰かが倒れるという万一の場合にファシリティマネジャーが備えておくべき体制や AED のメンテナンスなどについて再確認した。 4. IoT を活用した部会活動の継続および発展 2012 年より継続して、JFMA 会議室と、大阪や仙台の部会員の自宅とをインターネット電話サービス（スカイプ）でつないで部会活動を行っている。遠隔地の部会員に参加してもらうことで、防災に対する考え方や、地域開発の様子など、東京以外の地域で起こっていることについても、問題意識を持つことができた。 加えて、ファイル共有や出欠確認を行うことができるグループウェア（サイボウズ Live）を利用して、会議資料の整理や共有化を行っている。インターネット電話サービスとグループウェアを利用すると資料を画面共有して議論ができるため、プリントアウトした配布物が減少した。
13	<p>(固有技術研究分野)</p> <p>財務評価手法研究部会</p>	<p>《部会長 松成和夫》</p> <p>■メインテーマ ①FM 財務評価手法の部分改訂案の検討 ②企業財務関連の知識吸収 ③FM 財務評価手法の普及啓発</p> <p>■活動内容 ①FM 財務評価セミナーの実施 3/8～4/7 まで4回連続参加者 ②部会での新教科書に向けた FM 財務評価の改訂案の検討 6回にわたり検討 ③外資系企業の FM アウトソーシングの実情（河合義一氏講演） ④不動産レポートより都市未来研究所仲谷氏講演 ⑤『コンシャス・カンパニー』ジョン・マキー著の示唆するもの ホールフーズマーケットなど優良企業の全ステークホルダー向け経営について ⑥オフィスビルマーケットの状況 2016 年 三幸エステート田中氏講演</p>

14	(固有技術研究分野) オフィス・ワークプレ イスの知的生産性研究 部会	<p>《部会長 齋藤敦子》</p> <p>■メインテーマ 知的生産性を支えるワークプレイス・モデル「SOF」(ワークスタイル、組織、ファシリティ)の研究開発と、実践のためのツールづくり。</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報収集および意見交換(月1回研究会開催) ワークプレイスと知的生産性に関する情報収集やトレンド調査 2. SOFモデルの構築(分科会) SOFの項目毎ステージ評価システムの作成 3. SOFモデルの検証 ベンチマークオフィスにおける評価 4. 外部研究機関との協働 経営・組織関係の外部識者との意見交換や共同研究 5. 研究成果の発表 研究と実践をつなぐことを目的とした公開セミナーの実施 有識者も交えた公開ディスカッションの開催
15	(固有技術研究分野) コンピュータ活用研究 部会	<p>《部会長 天神良久》</p> <p>■メインテーマ 「FM領域に係わるICT新技術の調査」 「CAF Mシステムの活用事例の調査」 「Eco・Lcc削減を可能にする環境配慮型ICT新技術の調査」</p> <p>■活動内容</p> <p>■勉強会</p> <p>2016年4月1日(金) タイトル「建設会社で作成するLCCシミュレーション」とは</p> <p>2016年5月13日(金) タイトル「住宅履歴書プロジェクト(SMILE)」について</p> <p>2016年6月24日(金) タイトル「中長期計画作成ソフト」の紹介 ー複数建物のLCCシミュレーションも行えますー</p> <p>2016年8月25日(木) タイトル「屋内3D地図の簡易生成手法と空間情報の利活用」について</p> <p>2016年10月14日(金) タイトル「@プロパティ不動産管理クラウド」の紹介</p> <p>2016年11月25日(金) タイトル「維持管理業務におけるICTの活用」について</p> <p>2017年1月27日(金) タイトル「維持保全・データベース」について</p> <p>2017年3月9日(木) タイトル「SAVE-住宅 Ver.4、SAVE-建築 Ver.3.1の省エネ関連システム」の紹介</p> <p>■見学会</p> <p>2016年12月2日(金) タイトル「横須賀地区の建物視察」</p> <p>■ファシリティマネジメントフォーラム 2017 2月24日(金) 15:50~16:40 出版企画「FMで活用するICTシステム」の発表</p> <p>■出版企画「FMで活用するICTシステム」 2017年7月発売:印刷準備中 共著:著作者9名</p>

16	(固有技術研究分野) B I M ・ F M 研究部会	<p>《部会長 猪里孝司》</p> <p>■メインテーマ BIM・FM連携ガイドライン作成 BIM・FM連携によるBIMおよびFMの高度化 2015年4月発行のBIM活用ガイドブックによるFMでのBIM活用推進</p> <p>■活動内容 研究部会を月1回開催し、FMでBIMを活用するためのガイドライン作成に向け、コンセプト・構成・内容について議論した。FMでのBIM活用は公表されている事例が少ないが、部会員が試行している事例等公表されていない事例について情報共有した。施設管理システムを開発している企業等を講師として招き、FMが必要とする情報とBIMによる情報の相違点について議論した。</p>
----	------------------------------------	---

2. ファシリティマネジメント国際標準化（ISO）への対応

FMのISO国際標準化並びに新しいFMのマネジメント規格に対する意見集約のため、国内専門委員会を4回開催した。また米国カルフォルニア州サンディエゴ市で開催したISO/TC267 ファシリティマネジメントWG3会議に参加し、FMのISO国際標準化策定作業に参画した。

3. 海外ファシリティマネジメント調査団

海外におけるファシリティマネジメント先進事例を調査・研究すると共に、海外のファシリティマネジメント関係者と交流しネットワークを構築することにより、わが国のファシリティマネジメントの発展に資するため、海外を対象に調査団を次のとおり派遣した。

- (1) テーマ : オセアニアFM・不動産現況視察調査
- (2) 訪問先 : オークランド市（ニュージーランド）、シドニー市（オーストラリア）
- (3) 期間 : 平成28年9月18日25日
- (4) 参加人数 : 25名
- (5) 視察調査場所
 - ・ オークランド市
 - ① Copthorne Hotel Auckland City（大型ホテル）
 - ② Panku Development Auckland（不動産開発）
 - ③ Auckland Museum（ゴシック様式建造物）
 - ④ Active Building Management（総合ビル管理）
 - ⑤ Sky Tower（ランドマーク的複合施設）
 - ・ シドニー市
 - ⑥ Hyde Park Barracks Museum（世界遺産）
 - ⑦ Jackson Teece Sydney（建築設計事務所）
 - ⑧ 1 Bligh Sydney（市内シンボリックオフィスビル）
 - ⑨ Qantas Airway（オーストラリア最大の航空会社）
 - ⑩ Macquarie Bank（オーストラリア最大の投資銀行）

⑪Opera House（劇場を中心とする複合施設）

⑫Queen Victoria Building（大型商業施設）

付 6 . 広報事業

付6 広報事業

1. ファシリティマネジメントに関する広報事業

ファシリティマネジメントに関する広報を目的として、ホームページの開設運用、メールマガジンの定期的な発行、機関誌の定期的な発行、新聞雑誌等マスコミへの広告、ファシリティマネジメントフォーラムを活用した情報発信と展示会及び地方自治体等公共機関への訪問広報等を行った。

2. 機関誌「JFMAジャーナル」の定期的な発行

「JFMAジャーナル」は、FMに関する最新情報を特集形式で取り上げ、FMの本質と時代性を反映させると共に、JFMAからのメッセージを発信している。特に、FM知識・情報の集積と保存性を考慮すると共に、内容の読みやすさ、理解のしやすさ、美しさを考慮したデザインを目指している。

今期は、春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）および冬号（1月）の年4回、季刊誌として次の通り発行し、会員に頒布した。

春号（3,200部）特集： JFMA FORUM 2016 特集号
第10回 日本ファシリティマネジメント大会

夏号（3,300部）特集： 熊本地震に学ぶ
減災と復興のためのFM
災害時に命を守り、早期の復旧・復興を実現するためには、
ファシリティマネジメントにも減災の視点が不可欠です

秋号（3,500部） JFMA 法人化20周年記念特別号
「ファシリティマネジメントの未来を語ろう」

冬号（4,500部） JFMA 設立30周年記念 特別号
「FM 渡来30余年、次のステージへ TRY」

3. Web版「JFMAジャーナル・オンライン」の運用

紙ベースの機関紙「JFMAジャーナル」が年4回、季刊で発行するが、JFMAからの周知事項、会員情報等をタイムリーに知らせる必要がある。そのために、インターネットを利用し、毎月Web上にタイムリーな情報を掲載する「JFMAジャーナル・ONLINE」を運用し、「JFMAジャーナル」のトピックスを中心に紹介するとともに、コラム「FM玉手箱」やセミナー報告などタイムリーな情報の提供を行った。

4. ホームページの運用

わが国を代表するファシリティマネジメント関連組織として、JFMAホームページは、平成28年度末実績で年間95万回のアクセスのあるウェブサイトとなっている。ファシリティマネジメントに関する情報、JFMAの主要な事業や行事に関する情報、調査研究成果に関する情報等の発信、各種提言内容の周知等を行うと共に、JFMAが蓄積した各種のファシリティマネジメント関連情報の検索、会員相互の情報交換の場として活用されている。

今期も引き続き、タイムリーな改定を行い、常に新鮮な情報の提供を行った。ホームページの主な構成は、次のとおりである。

(1) ファシリティマネジメント (FM) とは

- ① FMとはどのようなものか
- ② FMの必要性
- ③ FMの効果

(2) 協会概要

- ① 事業概要
- ② 基本情報および組織
- ③ 定款・公開資料

(3) JFMA会員

- ① 制度のご案内と特典
- ② 会員一覧
- ③ 入会お申込み
- ④ 会員登録情報の更改

(4) 認定ファシリティマネジャー資格

- ① 概要
- ② 資格者データ
- ③ 資格試験
- ④ 新規資格登録申請
- ⑤ 登録資格更新
- ⑥ IFMA／CFM相互認証制度
- ⑦ 資格登録情報の変更
- ⑧ 求人情報

(5) セミナー・報告会

- ① ウィークリーセミナー
 - ・参加申込
 - ・開催記録
- ② FM上級セミナー
- ③ FM初級スクール
- ④ 専門分野別セミナー（調査研究部会公開セミナー、FM財務評価セミナー）
- ⑤ 各種企画セミナー

(6) 調査研究

- ① 調査研究
- ② 各研究部会・参加申込
- (7) ファシリティマネジメントフォーラム
 - ① ご案内と開催記録
- (8) JFMA賞
 - ① 第11回日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）受賞者発表
 - ② 応募要項
 - ③ 過去の日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）の受賞者
- (9) 書籍・報告書
 - ① 書籍紹介
 - ② ご購入お申込み
- (10) 機関誌
 - ① 新着情報
 - ② JFMA JOURNAL（ジャフマジャーナル）公開版 最新号
 - ③ バックナンバー
- (11) メールマガジン
 - ① ご案内
 - ② メンバー登録と配信先変更届け等
- (12) お問い合わせ
- (13) 事務局案内地図
- (14) サイトマップ

5. メールマガジンの定期的な発行

ファシリティマネジメントに関する最新情報を、一般向けメールマガジン「JFMAIL」として月平均2回、約7,000人の登録者へ合計26回発信した。

公共機関関係向けのメールマガジン「公共FM推進ネット」は毎月、244団体の地方自治体等登録者約280人へ合計16回発信した。

年間の読者数は、「JFMAIL」が延べ約182,000人、「公共FM推進ネット」が延べ約4,480人と推定できる。

案内する情報の詳細は、JFMAホームページにより掲載されているが、メールマガジンでは最新の内容を簡潔に案内することにより、価値ある情報に利用者がアクセスしやすいように配慮している。

6. 「ファシリティマネジメントフォーラム 2017」のスポンサー募集とガイドブック等発行

「ファシリティマネジメントフォーラム 2017」開催にあたり、会員及び会員以外の企業を対象とし、49社より数種類のスポンサー（プライム、コンサート、おもてなし、ダイヤモンド、ゴールド、シルバー）を募った。フォーラムの参加者配布用に作成する「ガイドブック」には、セミナープログラム、セミナー概要やJFMA賞受賞案件概要のほか、スポンサー企業の広告（企業のロゴと名称）を掲載し、スポンサーの広告は、フォーラム期間中、数枚のパネルに掲載し、会場内に掲示するとともに、ホームページに掲載する。パネルは一枚をフォーラム終了後一年間、JFMA事務局の会議室壁面に継続掲示する。ホームページでは、スポンサー企業のホームページとリンクさせる。

今期は、下記のとおり実施した。

(1) スポンサー

スポンサー（49社）	
プライム	CBRE：1社
ダイヤモンド	(株)イトーキ、(株)NTTファシリティーズ、(株)FMシステム、 JR東日本ビルテック(株)、大成建設(株)、三菱地所(株)：6社
ゴールド	イオンデイライト(株)、イナバイインターナショナル(株)、(株)内田洋行、 NTT都市開発(株)、(株)岡村製作所、コクヨ(株)、(株)コンステックホールディングス、 三機工業(株)、住友セメントシステム開発(株)、高砂熱学工業(株)、(株)日建設計、 日本郵政(株)、日本メックス(株)、日比谷総合設備(株)、福井コンピュータアーキテクト(株)、 プラス(株)、プロパティデータバンク(株)、三井不動産(株)、森ビル(株)：19社
シルバー	(株)大林組、鹿島建設(株)、(株)構造計画研究所、三幸エステート(株)、 澁澤ファシリティーズ(株)、清水建設(株)、ジョーンズラングラサル(株)、 新日本空調(株)、(株)スターメンテナンスサポート、大星ビル管理(株)、ダイダン(株)、 太平ビルサービス(株)、(株)竹中工務店、(株)ディー・サイン、東急不動産(株)、 東京ガス都市開発(株)、(株)トヨックス、(株)日本設計、(株)ビケンテクノ、 ファシリティパートナーズ(株)、(株)山下ピー・エム・コンサルタンツ、 リコージャパン(株)、：22社
おもてなし	MARSジャパンリミテッド：1社

- (2) ガイドブック スポンサー広告を掲載するガイドブック 3,500部発行
- (3) 広告パネル スポンサー広告を掲載するパネル3枚作成し期間中会場に掲示
一枚は持ち帰りJFMA事務局会議室に一年間掲示
- (4) ホームページ 平成29年1月～3月、スポンサー広告はホームページに掲載
し各企業ホームページとリンク
- (5) メールマガ 平成29年1月～3月発行のメールマガジンでスポンサー名称
を掲載
- (6) 機関紙 平成29年春号機関紙「JFMAジャーナル」にスポンサー広告
を掲載

付 7 . 交 流 事 業

付7 交流事業

今期は、主として下記の交流を行った。

(1) ファシリティマネジメントフォーラムにおける交流

ファシリティマネジメントフォーラム2017 ネットワーキングパーティ

日時	平成29年2月23日(木) 18時30分～20時30分
会場	タワーホール船堀 瑞雲の間
参加者	280名
内容	JFMA賞受賞祝賀会を兼ね、経済産業省、国土交通省からの来賓、グローバルFMサミットに参加する韓国FM協会・米国FM協会・マカオFM協会、JFMA役員、JFMA賞受賞者らがゲストとして参加。 一般のフォーラム来場者、法人会員、個人会員等との交流会を実施。

(2) 海外のFM関連団体との交流

- ・韓国第22回国際シンポジウム(平成28年11月10日～11日)に参加して講演を行うとともに、講演後のネットワーキングパーティにて活発な意見交換を行った。

○プレゼンテーション

講師：成田一郎(JFMA専務理事)

JFMAの活動と公共FMの動向、

○一般公演

講師：成田一郎(JFMA専務理事)

日本のFM事例紹介

講師：川村正雄(JFMA ISO推進室長)

ISO41011、ISO41012、ISO41001、ISO55001に対する日本での活動紹介

- ・ファシリティマネジメントフォーラムのグローバルFMサミット(平成29年2月24日)において、米国、韓国、マカオのFM協会関係者が来日し、各国の最新のFM事情を発表して、意見交換を行った。

(3) その他

- ・国内FM関連団体(北海道FM協会、四国FM協会他)、学会、大学、地方公共団体等とセミナーの講演等で交流した。

